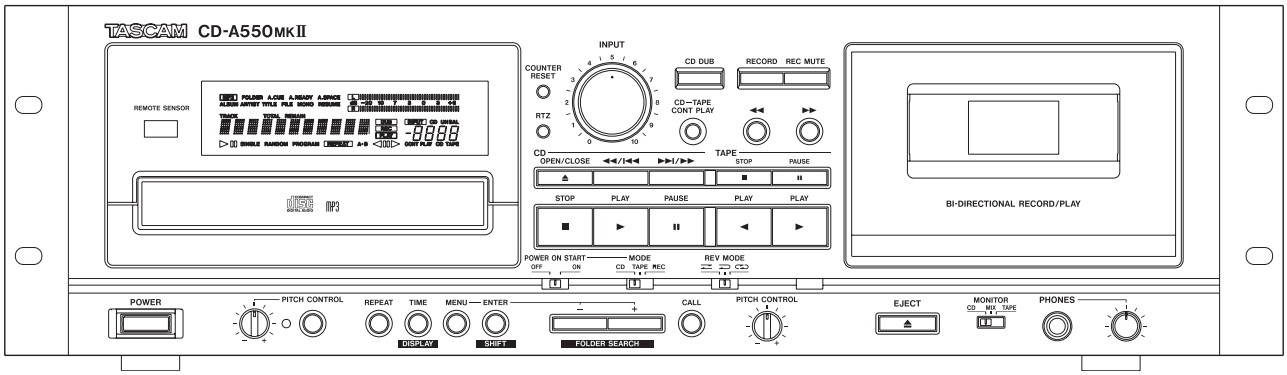
TASCAM

D01231800A

CD-A550MKII

Compact Disc Player / Reverse Cassette Deck

取扱説明書



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出た、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落とした、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。
 指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年1回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm以上）離して設置する **ラックなどに入れるときは、機器の天面から1U以上、背面から10cm以上の隙間を空ける** 隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災・感電の原因となります。
 禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

⚠ **注意**	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す** コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する** **また、接続は指定のコードを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。また、モニター機器などの破損の原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。
 注意	5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。

電池の取り扱いについて

本機に付属するワイヤレスリモコンは、電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどを避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

警告 乾電池に関する警告	
禁止	**乾電池は絶対に充電しない** 破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

警告 電池に関する警告	
強制	**電池を入れるときは、極性表示（プラスとマイナスの向き）に注意し、電池ケースに表示されている通りに正しく入れる** 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災・けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない** 破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなる場所で保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

注意 電池に関する警告	
禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。** ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**分解しない** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

目次

安全にお使いいただくために 2
電池の取り扱いについて 4

第1章　はじめに 6
本機の概要 6
本製品の構成 6
本書の表記 6
商標に関して 6
設置上の注意 7
結露について 7
製品のお手入れ 7
カセットレコーダーのヘッドの清掃 7
CD（コンパクトディスク）について 7
取り扱い上の注意 7
カセットテープについて 8
ユーザー登録について 8
アフターサービス 8

第2章　各部の名称と働き 9
フロントパネル 9
リアパネル 11
ワイヤレスリモコン（RC-A550） 12
ディスプレー 14

第3章　メニュー 15
メニューの構成 15
メニューの操作 15

第4章　準備 17
接続する 17
COMMON OUTの設定 18
リモコンを準備する 18
乾電池の入れ方 18
乾電池の交換時期 18
乾電池についての注意 18
リモコン使用上の注意 18
ディスプレーの輝度を調整する（DIMMER） 18

第5章　CDの再生 19
再生可能なディスク 19
データCDのフォルダーとトラックについて 19
CDをセットする 20
トレーロック機能 20
再生する 20
曲を選ぶ 21
前後のトラックにスキップする 21
トラック番号を指定する 21
フォルダーを選ぶ（データCDのみ） 21
早送り／早戻しサーチ 22
フォルダー再生（データCDのみ） 22
リモコンからフォルダー再生モードを設定する 22
本体からフォルダー再生モードを設定する 22
再生モード 23
再生モードを選択する 23
プログラム再生 24
プログラムを設定する 24
プログラムを全て消去する 25
プログラムを確認する 25
プログラムを編集する 25
再生時間表示モード 25
文字情報表示モード 26
リピート再生 26
通常のリピート再生 26
A-Bリピート再生 27
ピッチコントロール 27
オートキュー機能（オーディオCDのみ） 28
リモコンの専用ボタンでオン／オフを切り換える 28
オートレディ機能 28
本体でオン／オフを切り換える 28
オートスペース機能 29
本体でオン／オフを切り換える 29
インクリメンタルプレイ 29
コール機能 30
リジューム再生 30
EOM機能 30

第6章　カセットテープの再生 31
再生の準備 31
リバースモードを選ぶ 31
再生する 31
テープカウンター 32
RTZ 32
ピッチコントロール 32

第7章　カセットテープの録音 33
録音の準備 33
リバースモードを選ぶ 33
録音ソースを選ぶ 33
録音する 33
レックミュート機能 34
CDをテープにダビングする 34
基本ダビング（テープのA面の頭から録音） 34
録音レベルを調整してダビングする 34
テープエディット機能を使う 35
応用編 35

第8章　その他の機能 36
CDとテープの連続再生 36
パワーオンスタート 36
出荷時の設定に戻す 37
モノラル再生 37
本機の情報を見る 37
バージョンを確認する 37
モーターの稼働時間を確認する 37

第9章　メッセージ一覧 38
動作メッセージ 38
警告メッセージ 38
エラーメッセージ 38

第10章　トラブルシューティング 39

第11章　仕様 40
定格 40
CDプレーヤー部 40
カセットテープ部 40
アナログオーディオ 40
CDプレーヤー部 40
カセットテープ部 40
ヘッドホン部 40
デジタルオーディオ 40
CDプレーヤー部 40
一般 41
寸法図 41

第1章　はじめに

このたびは、TASCAM Compact Disc Player / Reverse Cassette Deck CD-A550MKIIをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになった後は、いつでも見られる所に保管してください。
また取扱説明書は、弊社ウェブサイト（**http://tascam.jp/**）からダウンロードすることができます。

本機の概要

- CDプレーヤーとカセットレコーダーを搭載
- CDプレーヤーとカセットレコーダーを完全に独立操作可能
- CD専用出力端子とコモン出力端子を装備。コモン出力端子からはテープ出力のほかに、CDとテープのミックス出力やテープ優先出力も可能
- CDとカセットテープの連続再生が可能
- CDからカセットテープへのダビング時、テープのA面、B面へのトラック自動振り分けが可能（テープエディット機能）
- CDまたはカセットテープのパワーオン再生、カセットテープのパワーオン録音が可能
- ヘッドホンによるモニターが可能
- 数字ボタン（0 ～ 9ボタン）を装備したワイヤレスリモコンを付属
- 3Uのラックマウントサイズ

CD機能

- CD-R、CD-RWディスクの再生が可能
- CDテキストを表示可能
- MP3オーディオやWAVオーディオの再生が可能
- 前回、再生を終了した位置から続きを再生するリジューム再生機能
- トラックの音声立ち上がり位置で一時停止するオートキュー機能（オーディオCDのみ）
- トラック再生後に次のトラックの頭で一時停止するオートレディ機能
- トラック再生を中断したときに次のトラックの頭で自動待機するインクリメンタルプレイ機能。
- 再生トラックの間に自動的にスペースを作るオートスペース機能
- 再生開始ポイントに戻すことができるコール（バックキュー）機能
- トラックの終了を予告するEOM機能
- 4種類の再生モード（連続、シングル、ランダム、プログラム）
- リピート再生機能
- ピッチコントロール機能（±12.5%）
- 再生中のトレーオープン禁止機能

カセットテープ機能

- オートリバース録音／再生が可能
- RTZ（リターン・トゥ・ゼロ）機能
- 再生ピッチコントロール機能（±10%）

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。
梱包箱と梱包材は後日輸送するときのために保管しておいてください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合、当社までご連絡ください。

- 本体　x1
- ワイヤレスリモコン（RC-A550）　x1
- リモコン用単3形乾電池　x2
- ラックマウントビスキット　x1
- 取扱説明書（本書、保証書付き）　x1

本書の表記

本書では以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「**MENU**ボタン」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を　RANDOM　のように表記します。
- ディスプレーのメイン表示部に時間やタイトルを表示している状態を「通常表示」と呼びます。
- 「CD-DA」形式のことを「オーディオCD」形式と表記する場合があります。
- MP3オーディオやWAVオーディオを記録したCDを「データCD」と表記する場合があります。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、CDやカセットテープを破損する可能性がある場合に記載します。

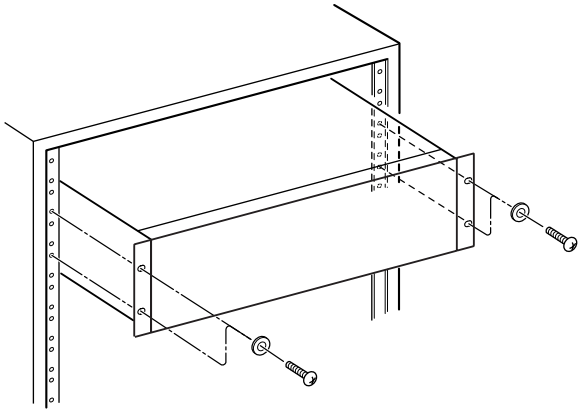
商標に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏5度～ 40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。

  振動の多い場所
  窓際などの直射日光が当たる場所
  暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  極端に温度が低い場所
  湿気の多い場所や風通しが悪い場所
  ほこりの多い場所
- 本機は、水平に設置してください。
- 放熱をよくするために、本製品の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。なお、ラック内部では、本製品の上に1U以上のスペースを空けてください。



結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1 ～ 2時間放置した後、電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

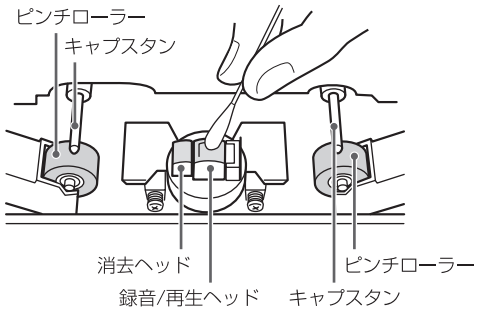
製品の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。化学ぞうきん、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を痛める、または色落ちさせる原因となります。

カセットレコーダーのヘッドの清掃

カセットレコーダーのヘッド部が汚れると、再生／録音の音質が悪化する、または音飛びの原因になります。また、テープ走行部の汚れは、テープの巻き込みなどを引き起こすことがあります。
約10時間の使用を目安に、市販のクリーニング液を綿棒に含ませて、カセットレコーダーのヘッドとピンチローラー、キャプスタンを清掃してください。

注意

クリーニング液が乾くまで再生／録音を行わないでください。

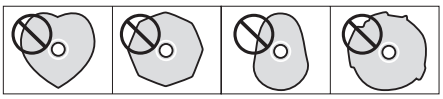


CD（コンパクトディスク）について

本機は、市販の音楽CDのほかに、オーディオCD（CD-DA）形式で記録したCD-RやCD-RWディスク、MP3オーディオファイルあるいはWAVオーディオファイルを記録したCD-RやCD-RWを再生することができます。また、8cmCDの再生も可能です。

取り扱い上の注意

- ディスクは、必ずレーベル面を上にして挿入してください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手で挟むように持ってください。
- 信号録音面（レーベルがない面）には触れないでください。
- 指紋や脂などが付着していると、再生するときにエラーの原因になることがあります。
- 信号録音面に指紋やほこりが付いたら、柔らかい布を使って中心から外側に向かって軽く拭いてください。
- ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。
- ディスクの清掃に、レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどの化学薬品を使用することは絶対お止めください。表面が変質して再生不能になる恐れがあります。
- ディスクにラベルなどを貼ることはおやめください。盤面にセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にセットすると、ディスクが取り出せなくなる、または故障の原因となることがあります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できない、または故障の原因になります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や名刺形、八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因になりますので使用しないでください。



- いくつかのレコード会社より「コピーコントロールCD」と銘打った著作権保護を目的としたディスクが販売されています。これらはCD規格に則っていないディスクも存在するため、本機で再生できない場合があります。

カセットテープについて

使用テープ

録音可能テープ：　タイプI　（ノーマル）
　　タイプII　（ハイポジション／クローム）
再生可能テープ：　タイプI　（ノーマル）
　　タイプII　（ハイポジション／クローム）
　　タイプIV（メタル）

録音防止用つめ

誤って録音内容を消してしまうミスを防ぐために、録音防止用のつめがあります。つめはカセットのA（1）面、B（2）面用にそれぞれあります。ドライバーの先などで折って取り除くと、録音防止装置が働いて録音ができません。
再度、録音をしたいときは、セロハンテープを貼ってつめ穴をふさいでください。

テープの「たるみ」

ご使用の前に、カセットテープのテープがたるんでいないか確かめてください。テープがキャプスタンなどに巻き込まれることがあります。鉛筆などでたるみを巻き取ってください。

テープの自動検出孔について

カセットには、テープ自動検出孔が付いています。
本機では、テープの種類を自動検出します。

お使いいただけないカセットテープ

次のようなカセットテープを使用すると、正常な動作や性能が得られないことがあります。また、テープが巻き込まれて思わぬトラブルを起こすこともありますので、ご注意ください。

- **形状精度の悪いカセットテープ**
  カセットが変形、破損したもの、テープの走行が不安定なもの、早送り／巻き戻し中に異音を生ずるカセット。
- **長時間テープ**
  90分を越えるテープは、大変薄くて伸びやすいため、ワウフラッターの原因ともなります。また、テープが機械に巻き込まれることがありますので、ご注意ください。

取り扱い上の注意

- カセットを開けたり、テープを引き出したりしないでください。
- テープの磁性体コーティング面に直接手を触れないでください。
- ゴミやほこりの多い場所に放置しないでください。
- 高温・多湿の場所での使用、保管は避けてください。
- 強磁場での使用、保管は避けてください。雑音が入る、または録音内容が消えてしまうことがあります。

ユーザー登録について

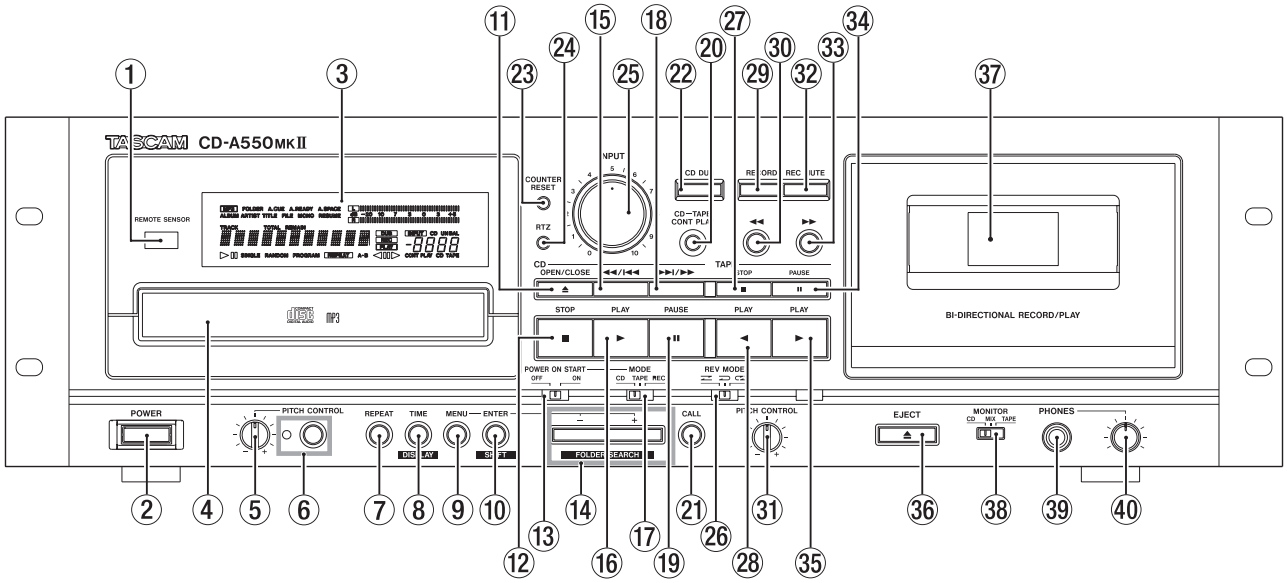
TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

http://tascam.jp/support/registration/

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（裏表紙に記載）されております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししていますので、大切に保管してください。万が一販売店の捺印やご購入日の記載がない場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できる物を一緒に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。保証期間中は記載内容によりティアック修理センター（裏表紙に記載）が修理いたします。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）などにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
  なお､本機の故障､もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
  - 型名、型番（CD-A550MKII）
  - 製造番号（Serial No.）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先につきましては、裏表紙をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

フロントパネル



① **リモコン受光部**
付属のワイヤレスリモコン（RC-A550）の信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

② **POWERボタン**
電源をオン／オフします。

③ **ディスプレー**
トランスポート状態、選択中の入力ソース、録音／再生信号レベル、メニューなどを表示します。

CD部

④ **ディスクトレー**
OPEN/CLOSEボタンを押してディスクトレーを開け、ディスクのセット／取り出しを行います。
ディスクトレーを閉じるときは、**OPEN/CLOSE**ボタンを押します。

⑤ **PITCH CONTROLつまみ**
CDの再生ピッチを設定します。（→ 27ページ「ピッチコントロール」）

⑥ **PITCH CONTROLボタン／インジケーター**
このボタンを使ってCDのピッチコントロール機能のオン／オフを行います。（→ 27ページ「ピッチコントロール」）
オンのときにインジケーターが点灯します。

⑦ **REPEATボタン**
リピート再生機能のオン／オフを行います。（→ 26ページ「リピート再生」）

⑧ **TIME [DISPLAY] ボタン**
再生時間表示中にこのボタンを押すと、再生時間表示モード（トラック経過時間、トラック残時間、または総残時間）が切り換わります。文字情報表示中にこのボタンを押すと、再生時間表示になります。（→ 25ページ「再生時間表示モード」）
再生時間表示中に**SHIFT**ボタンを押しながらこのボタンを押すと、文字情報表示になり、アルバム名、曲名、アーティスト名、またはファイル名が表示されます。
文字情報表示中に**SHIFT**ボタンを押しながらこのボタンを押すと、文字情報内容（アルバム名、曲名、アーティスト名、またはファイル名）が切り換わります。また、文字情報表示中にこのボタンを長く押すと、表示がスクロールします。（→ 26ページ「文字情報表示モード」）

⑨ **MENUボタン**
ディスプレーが通常表示中に押すとメニューモードになり、メニュー項目選択表示になります。
メニュー項目選択表示中に押すと、通常表示に戻ります。
メニュー編集表示中に押すと、メニュー項目選択表示に戻ります。（→ 15ページ「メニューの操作」）

⑩ **ENTER [SHIFT] ボタン**
メニューモード中、選択や設定を決定するときに押します。
メニューモードでないとき、**SHIFT**ボタンとして働きます。

⑪ **OPEN/CLOSEボタン**
ディスクトレーを開閉します。

⑫ **STOPボタン**
CDの再生を停止します。

⑬ **POWER ON STARTスイッチ**
パワーオンスタート機能のオン／オフを設定します。（→ 36ページ「パワーオンスタート」）

⑭ **ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタン**
メニューモード中、選択や設定を切り換えます。
データCDをセットしている場合、**SHIFT**ボタンを押しながらこれらのボタンを押すと、カレントフォルダーが切り換わります。（→ 22ページ「フォルダー再生（データCDのみ）」）

⑮ **I◀◀ / ◀◀ ボタン**
短く押すと手前のトラックにスキップします。
長く押すと早戻しを行います。

⑯ **PLAYボタン**
停止中または一時停止中に押すと、CDの再生を開始します。

⑰ **MODEスイッチ**
パワーオンスタートのモード（CD再生、カセットテープ再生またはカセットテープ録音）を設定します。（→ 36ページ「パワーオンスタート」）

⑱ ►►I/►► ボタン
短く押すと次のトラックにスキップします。
長く押すと早送りを行います。

⑲ READYボタン
CDの再生を一時停止状態にします。

⑳ CD-TAPE CONT PLAYボタン
カセットテープとCDの連続再生モードのオン／オフを行います。（→ 36ページ「CDとテープの連続再生」）

㉑ CALLボタン
最後に一時停止から再生を始めたポイントにロケートし、一時停止します。（→ 30ページ「コール機能」）

㉒ CD DUBボタン
CDの再生音をカセットテープに録音（ダビング）します。（→ 34ページ「CDをテープにダビングする」）

カセットテープ部

㉓ COUNTER RESETボタン
テープカウンターを 0000 にリセットします。

㉔ RTZボタン
カセットテープをカウンターゼロポイント（0000）にロケートします。

㉕ INPUTつまみ
カセットテープの録音レベルを調節します。（→ 33ページ「録音する」）

㉖ REV MODEスイッチ
テープ走行モードを片方向（⇉）、両方向（⇄）、連続（∞）の中から選択します。（→ 31ページ「リバースモードを選ぶ」）
録音時は、連続（∞）を選択しても両方向動作になります。（→ 33ページ「リバースモードを選ぶ」）

㉗ STOPボタン
カセットテープを停止します。

㉘ PLAY [◄] ボタン
カセットテープをリバース方向（逆方向）に再生します。
録音待機／再生一時停止時は、録音／再生を開始します。ただし、フォワード方向で再生一時停止時にこのボタンを押すと、リバース方向の再生一時停止になります。

㉙ RECORDボタン
カセットテープを録音待機状態にします。

㉚ ◄◄ボタン
カセットテープを巻き戻します。

㉛ PITCH CONTROLつまみ
カセットテープの再生ピッチを設定します（±10%）。（→ 32ページ「ピッチコントロール」）

㉜ REC MUTEボタン
録音中に押すと、約4秒間の無信号録音を行った後に録音待機状態になります。（→ 34ページ「レックミュート機能」）

㉝ ►► ボタン
カセットテープを早送りします。

㉞ PAUSEボタン
カセットテープの再生や録音を一時停止します。
録音待機／一時停止時は、録音／再生を開始します。

㉟ PLAY [►]ボタン
カセットテープをフォワード方向（順方向）に再生します。
録音待機／再生一時停止時は、録音／再生を開始します。ただし、リバース方向で再生一時停止時にこのボタンを押すと、フォワード方向の再生一時停止になります。

㊱ EJECTボタン
カセットホルダーを開くときに押します。

㊲ カセットホルダー
カセットテープを挿入します。テープ側を下にして、挿入してください。
EJECTボタンを押してカセットホルダーを開きます。
カセットホルダーを閉じるには直接カセットホルダーを手で押します。

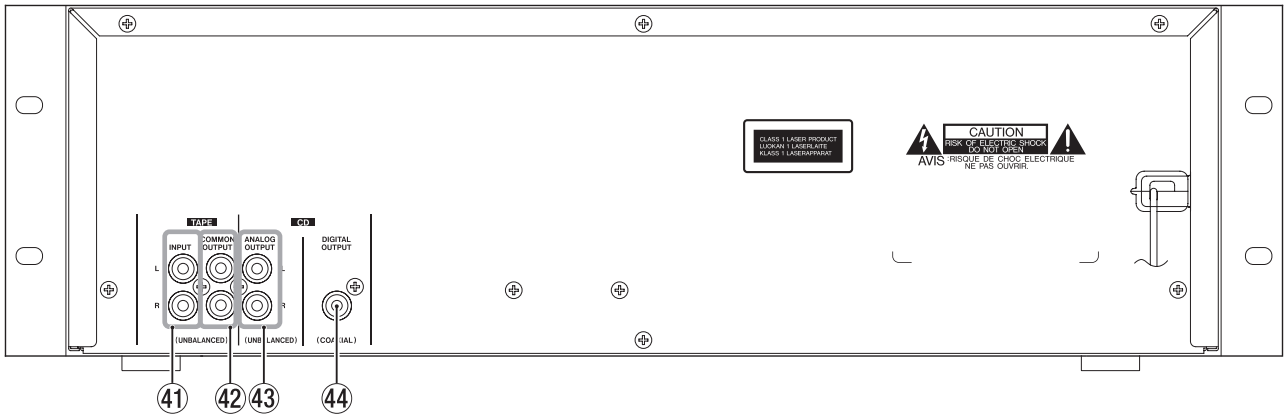
モニター部

㊳ MONITORスイッチ
PHONESジャックから出力される音声を選択します。CD音声のみ、テープ音声のみ、CDとテープのミックス音声の中から選択します。

㊴ PHONESジャック
ステレオヘッドホンを接続します（ステレオ標準ホンジャック）。

㊵ PHONESつまみ
PHONESジャックから出力される音声のボリュームを調節します。

リアパネル



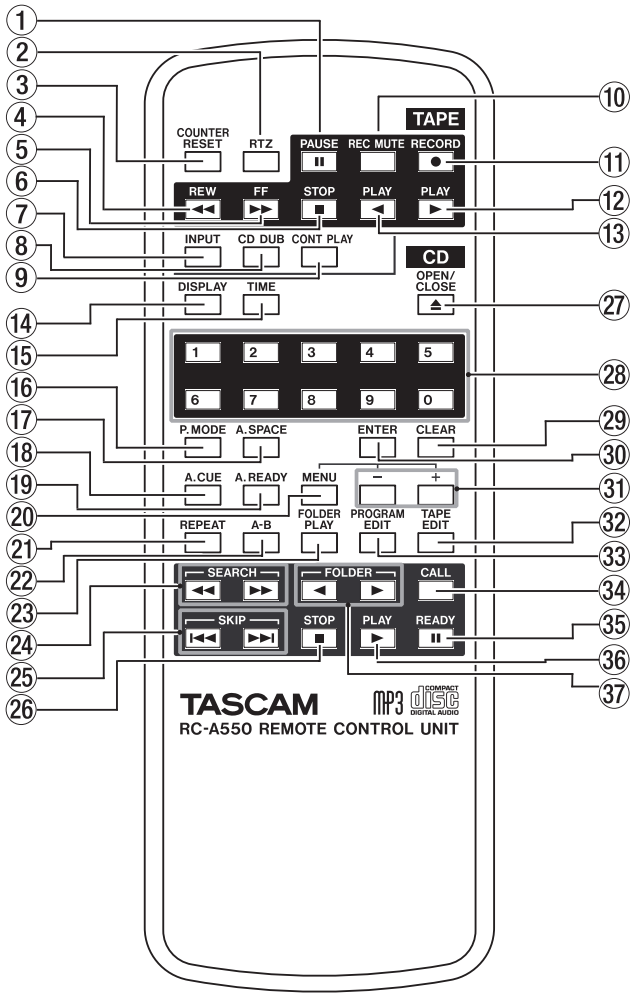
㊶ TAPE INPUT（UNBALANCED）端子
カセットテープに録音するアナログソース信号（-9dBu、アンバランス）を入力します。

㊷ TAPE COMMON OUTPUT（UNBALANCED）端子
カセットテープの再生信号をアンバランス出力します（-4.5dBu）。録音中／録音待機中は録音信号を出力します。ただし、メニューの COMMON OUT 項目の設定次第で、条件によってCD再生信号を出力することもできます。（→ 18ページ「COMMON OUTの設定」）

㊸ CD OUTPUT（UNBALANCED）端子
CDの再生信号をアンバランス出力します（-10dBV）。

㊹ CD DIGITAL OUTPUT（COAXIAL）端子
CDの再生信号をS/PDIFフォーマットでデジタル出力します。

ワイヤレスリモコン（RC-A550）



カセットテープ部

① **PAUSEボタン**
再生や録音を一時停止します。
録音待機／一時停止時は、録音／再生を開始します。

② **RTZボタン**
カセットテープをカウンターゼロポイント（0000）にロケートします。

③ **COUNTER RESETボタン**
テープカウンターを　0000　にリセットします。（→ 32ページ「テープカウンター」）

④ **REWボタン**
カセットテープを巻き戻します。

⑤ **FFボタン**
カセットテープを早送りします。

⑥ **STOPボタン**
カセットテープを停止します。

⑦ **INPUTボタン**
カセットテープに録音するソースを選択します。（→ 33ページ「録音ソースを選ぶ」）

⑧ **CD DUBボタン**
CDの再生信号をカセットテープに録音（ダビング）します。（→ 34ページ「CDをテープにダビングする」）

⑨ **CONT PLAYボタン**
カセットテープとCDの連続再生モードのオン／オフを行います。（→ 36ページ「CDとテープの連続再生」）

⑩ **REC MUTEボタン**
録音中に押すと、約4秒間の無信号録音を行った後に録音待機状態になります。（→ 34ページ「レックミュート機能」）

⑪ **RECORDボタン**
カセットテープを録音待機状態にします。

⑫ **PLAY [►]ボタン**
カセットテープをフォワード方向（順方向）に再生します。
録音待機／再生一時停止時は、録音／再生を開始します。ただし、リバース方向で再生一時停止時にこのボタンを押すと、フォワード方向の再生一時停止になります。

⑬ **PLAY [◄] ボタン**
カセットテープをリバース方向（逆方向）に再生します。
録音待機／再生一時停止時は、録音／再生を開始します。ただし、フォワード方向で再生一時停止時にこのボタンを押すと、リバース方向の再生一時停止になります。

CD部

⑭ **DISPLAYボタン**
再生時間表示中にこのボタンを押すと、文字情報表示になり、アルバム名、曲名、アーティスト名、またはファイル名が表示されます。文字情報表示中にこのボタンを押すと、文字情報内容（アルバム名、曲名、アーティスト名、またはファイル名）が切り換わります。また、文字情報表示中にこのボタンを長く押すと、表示がスクロールします。（→ 26ページ「文字情報表示モード」）

⑮ **TIMEボタン**
再生時間表示中にこのボタンを押すと、再生時間表示モード（トラック経過時間、トラック残時間、または総残時間）が切り換わります。文字情報表示中にこのボタンを押すと、再生時間表示になります。（→ 25ページ「再生時間表示モード」）

⑯ **P.MODEボタン**
再生モードを切り換えます。再生モードには連続再生、シングル再生、ランダム再生、プログラム再生の4つのモードがあります。（→ 23ページ「再生モード」）

⑰ **A.SPACEボタン**
オートスペース機能をオン／オフします。（→ 29ページ「オートスペース機能」）

⑱ **A.CUEボタン**
オートキュー機能をオン／オフします。（→ 28ページ「オートキュー機能（オーディオCDのみ）」）

⑲ **A.READYボタン**
オートレディ機能をオン／オフします。（→ 28ページ「オートレディ機能」）

⑳ **MENUボタン**
ディスプレーが通常表示中に押すとメニューモードになり、メニュー項目選択表示になります。
メニュー項目選択表示中に押すと、通常表示に戻ります。
メニュー編集表示中に押すと、メニュー項目選択表示に戻ります。（→ 15ページ「メニューの操作」）

㉑ **REPEATボタン**
リピート再生機能のオン／オフを行います。（→ 26ページ「リピート再生」）

㉒ **A-Bボタン**
A-Bリピート再生の始点、終点の設定／解除を行います。（→ 27ページ「A-Bリピート再生」）

㉓ **FOLDER PLAYボタン**
フォルダー再生機能のオン／オフを行います。（→ 22ページ「フォルダー再生（データCDのみ）」）

㉔ **SEARCH ◄◄ ／ ►► ボタン**
押している間、早戻し、早送りを行います。

㉕ **SKIP ⏮ ／ ⏭ ボタン**
手前のトラック、次のトラックにスキップします。

㉖ **STOPボタン**
CDの再生を停止します。

㉗ **OPEN/CLOSEボタン**
ディスクトレーを開閉します。

㉘ **数字ボタン（0 ～ 9ボタン）**
CD再生時やプログラム入力時のトラック番号指定に使います。

㉙ **CLEARボタン**
プログラム編集時にプログラムから曲を消去します。（→ 24ページ「プログラム再生」）

㉚ **ENTERボタン**
メニューモード中、選択や設定を決定するときに押します。

㉛ **ー／＋ボタン**
メニューモード時、選択や設定を切り換えます。

㉜ **TAPE EDITボタン**
テープエディット機能を実行します。（→ 35ページ「テープエディット機能を使う」）

㉝ **PROGRAM EDITボタン**
プログラム編集モードに入ります。（→ 24ページ「プログラム再生」）
プログラム編集モード中に押すと、プログラム編集モードを終了して通常表示に戻ります。

㉞ **CALLボタン**
最後に一時停止から再生を始めたポイントにロケートし、一時停止します。（→ 30ページ「コール機能」）

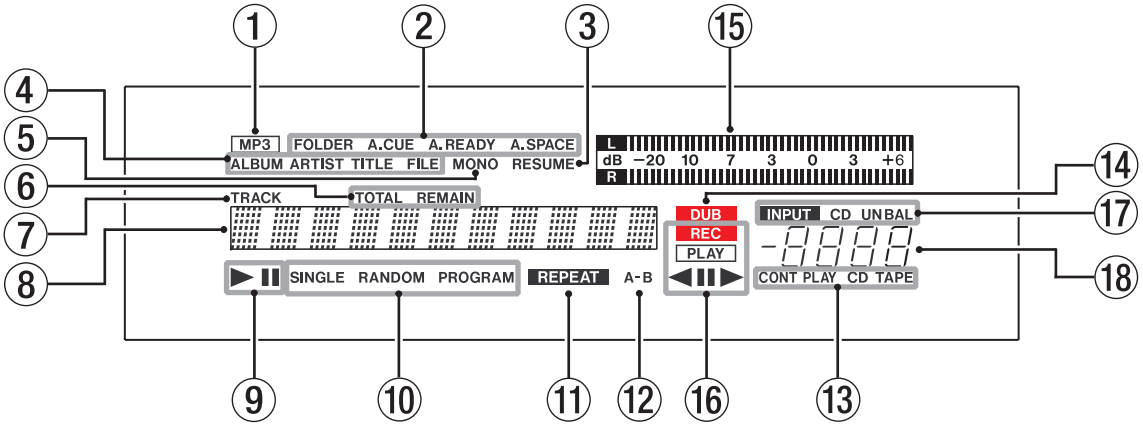
㉟ **READYボタン**
CDの再生を一時停止状態にします。

㊱ **PLAYボタン**
停止中または一時停止中に押すと、CDの再生を開始します。

㊲ **FOLDER ◄ ／ ► ボタン**
データCDのフォルダーを切り換えます。

ディスプレー

本機のディスプレーには以下の情報が表示されます。



CD部

① MP3マーク
MP3ファイルやWAVファイルが含まれたデータCDをセットしているときに点灯します。

② CD機能表示
CDのフォルダー再生機能、オートレディ機能、オートキュー機能、オートスペース機能がオンのとき、それぞれ FOLDER 、A.READY 、A.CUE 、A.SPACE が点灯します。

③ RESUMEマーク
CDのリジューム再生機能がオンのとき点灯します。

④ 文字情報モード表示
ディスクの文字情報を表示中､表示内容によって、ALBUM（アルバム）、ARTIST（アーティスト）、TITLE（タイトル）または FILE（ファイル名）が点灯します。

⑤ MONOマーク
出力をモノラルに設定しているとき点灯します。

⑥ 再生時間表示モード表示
メイン表示部が再生時間を表示中、時間表示モードに応じて点灯します。

- 再生時間表示モードが総残時間のとき、TOTAL REMAIN が点灯します。
- 再生時間表示モードがトラック残時間のとき、REMAIN が点灯します。
- 再生時間表示モードがトラック経過時間のとき、消灯します。メイン表示部が文字情報（メニュー、タイトル表示など）を表示しているときや、メニューモード、プログラム設定モードのときは消灯します。

⑦ TRACK
メイン表示部が時間表示のとき点灯します。ただし、インクリメンタルプレイ動作中は点滅します。メイン表示部が文字情報（メニュー、タイトルなど）を表示しているときや、メニューモード、プログラム設定モードのときは消灯します。

⑧ メイン表示
11文字分の表示を行います。
CDのトラック／再生時間やタイトル情報を表示するほかに、メニューモードでの表示や各種状態（エラーなど）の表示も行います。

⑨ CDトランスポート状態表示
CDが再生中に ► が点灯します。CDが一時停止中に ❚❚ が点灯します。

⑩ 再生モード表示
CDの再生モードに応じて点灯します。
通常再生（連続再生モード）のときは、全て消灯します。
シングルモード、ランダムモード、プログラムモードのとき、それぞれ SINGLE 、RANDOM 、PROGRAM が点灯します。

⑪ REPEAT
CDのリピート再生機能がオンのときに点灯します。

⑫ A-B表示
CDのA-Bリピート再生中に点灯します。
Aポイントのみが設定されているとき、A- は点灯し B が点滅します。

⑬ CONT PLAY CD TAPE
連続再生モード動作時に点灯します。
動作開始前（CDとテープが停止中）は、CONT PLAY が点滅します。
CD再生時は、CD が点滅します。
カセットテープ再生時は、TAPE が点滅します。

⑭ DUB
CDダビング機能が動作中、点灯します。

カセット部

⑮ レベルメーター
カセットテープの再生／録音音声レベルを表示します。

⑯ テープトランスポート状態表示
カセットテープが再生中/再生一時停止中は PLAY 、録音中／録音待機中は REC と PLAY が点灯します。
レックミュート動作中は REC が点滅になります。
再生一時停止中か録音待機中は ❚❚ が点灯します。また、現在のトランスポートの走行方向（ ► または ◄ ）が常に点灯します。

⑰ カセット入力ソース表示
カセットテープの入力ソースがCDのとき CD 、アンバランス入力のとき UNBAL が点灯します。

⑱ テープ走行カウンター
カセットテープカウンター値を表示します。
フォワード方向に進むとカウンターは進みます。 9999 の次は 0000 に戻ります。
リバース方向に進むとカウンターは減ります。 0000 の次は 9999 に戻ります。

本機ではメニューシステムを使って、環境設定やいくつかの機能設定を行います。

メニューの構成

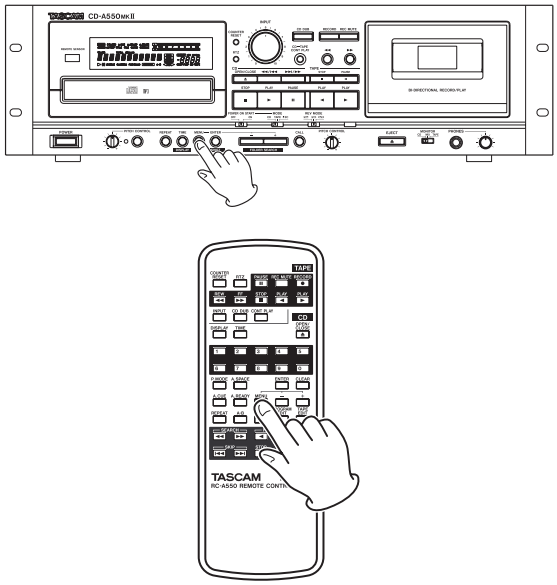
本機のメニューシステムには以下のメニュー項目があります。

メニュー番号	項目	内容
1	PLAY MODE	再生モード選択
2	AUTO CUE	オートキュー機能の設定
3	AUTO READY	オートレディ機能のオン／オフ
4	AUTO SPACE	オートスペース機能のオン／オフ
5	FOLDER PLAY	フォルダー再生機能のオン／オフ
6	INCREMENTAL PLAY	インクリメンタルプレイ機能のオン／オフ
7	RESUME PLAY	リジューム再生のオン／オフ
8	PROGRAM EDIT	プログラムの編集
9	TAPE EDIT	テープエディットの実行
10	TRAY LOCK	トレーロック機能のオン／オフ
11	EOM DISPLAY	EOM表示機能の設定
12	TAPE INPUT SOURCE	入力ソースの選択
13	COMMON OUT	COMMON出力ソースの選択
14	MONO OUT	モノラル出力機能のオン／オフ
15	DUBBING LEVEL	CDダビング時の録音レベル（固定／ボリューム）の設定
16	FL DIMMER	ディスプレーの輝度設定
17	VERSION	バージョン情報の表示
18	MOTOR TIME	モーター稼働時間の表示
19	DEFAULT	工場出荷時の設定に戻す機能

メニューの操作

メニューシステムを使った設定の基本操作手順を以下に示します。ただし、PROGRAM EDIT 項目と TAPE EDIT 項目は操作が複雑ですので、それぞれ24ページ「プログラム再生」、35ページ「テープエディット機能を使う」をご覧ください。また、VERSION 項目や MOTOR TIME 項目を選択した場合、それぞれの情報がディスプレーのメイン表示部に表示されるだけで、設定はありません。

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンの**MENU**ボタンを押します。
メニューモードに入り、ディスプレーのメイン表示部がメニュー項目選択表示になります。
前回最後に選択したメニュー項目が最初に表示されます。



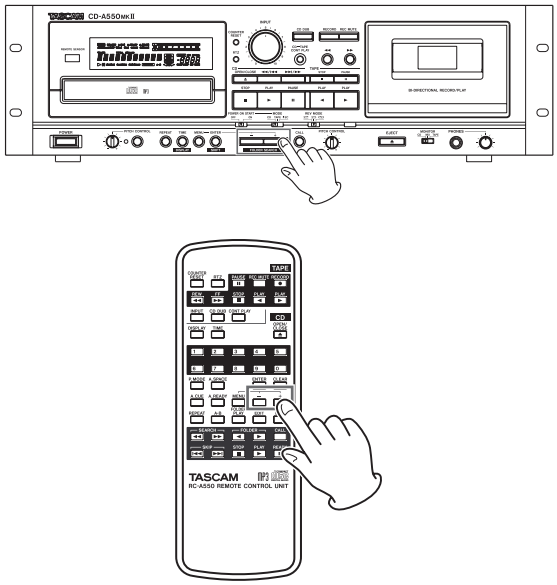
PLAY MODE?

[ディスプレー・メイン表示]

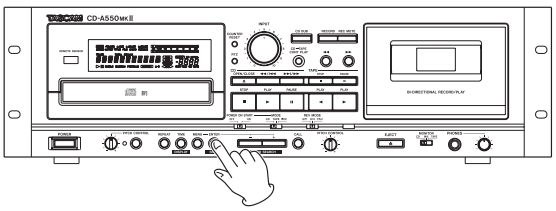
メモ

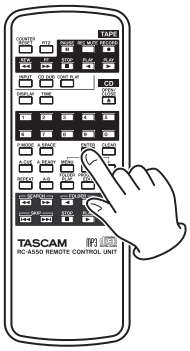
ニュー項目選択表示を表示中に**MENU**ボタンを押すと、通常表示に戻ります。

2. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使って、希望のメニュー項目を選択します。



3. 本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押して確定します。
メニュー項目名と設定値が表示されます。以下の要領で設定を行います。





[ディスプレー・メイン表示]

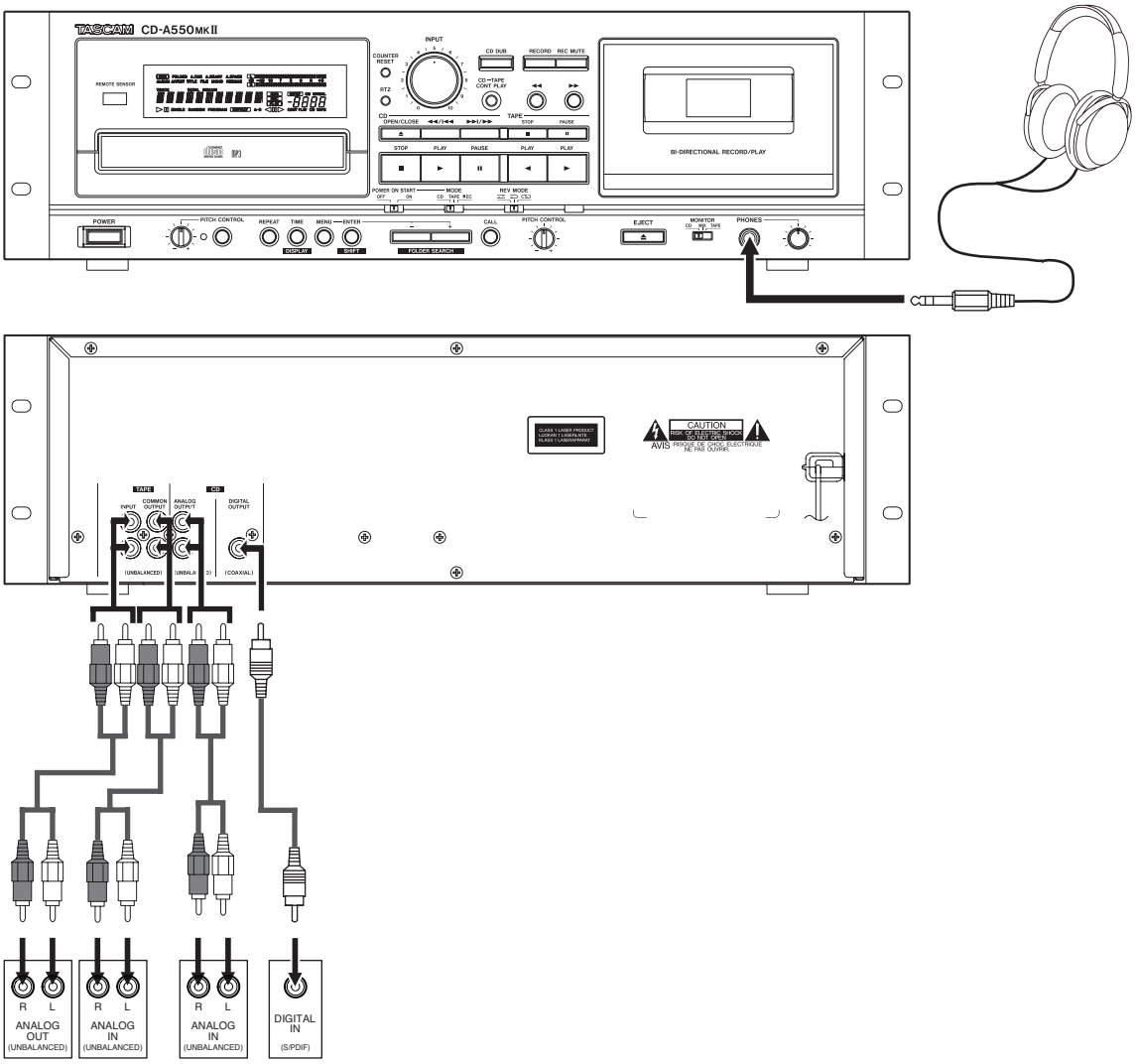
4. 本体の ー／+ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／+ボタンを使って、希望の値を選択します。
選択がそのまま即座に反映されます。

5. 本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。
ディスプレーが通常表示に戻ります。

メモ

メニュー項目名と設定値を表示中にMENUボタンを押すと、メニュー項目選択表示に戻ります。

接続する



ヘッドホンの接続

フロントパネルの**PHONES**端子にステレオヘッドホンを接続します。ボリュームは、**PHONES**端子の右の**PHONES**つまみで調節します。また、**PHONES**端子の左の**MONITOR**スイッチを使って、**PHONES**端子から出力される音声を選択します。

CD音声のみ「**CD**」、テープ音声のみ「**TAPE**」、CDとテープのミックス音声「**MIX**」の中から選択します。

外部オーディオ機器の接続（入力）

外部のオーディオソース（CDプレーヤー、ミキサーなど）を、本機の**TAPE INPUT**（**UNBALANCED**）端子に接続します。

入力選択は、メニューの　TAPE　INPUT　SOURCE　項目を使って行います。

入力ボリュームをフロントパネルの**INPUT**つまみを使って調節することができます。

外部オーディオ機器の接続（出力）

本機のアナログ出力には、**TAPE COMMON OUTPUT**端子と**CD ANALOG OUTPUT**端子があります。また、**CD DIGITAL OUTPUT**端子からは、CD再生信号がS/PDIFフォーマットでデジタル出力されます。

CD OUTPUT端子（**ANALOG**および**DIGITAL**）からは、常にCD再生信号が出力されます。

TAPE COMMON OUTPUT端子からは、メニューの　COMMON　OUT　項目で選択した信号が出力されます。（→ 18ページ「COMMON OUTの設定」）

COMMON OUTの設定

本機の使用環境に応じて、TAPE COMMON OUTPUT端子の出力信号を選択することができます。

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンのMENUボタンを押してメニューモードに入ります。
2. 本体の ー／+ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／+ボタンを使ってメイン表示部に COMMON OUT? を表示し、本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。

COMMON OUT?

3. 本体の ー／+ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／+ボタンを使って、以下の中から希望の値を選択します。

   TAPE　　：常にテープ再生信号を出力します。
   AUTO（初期値）：CDまたはテープの再生信号を出力します。両方を同時に再生している場合はテープ信号を優先して出力します。
   MIX　　：CDとテープの再生信号を出力します。両方を同時に再生している場合はミックスした信号を出力します。

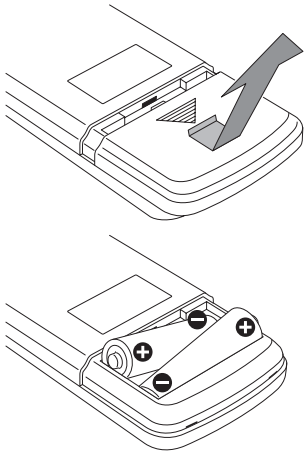
4. 本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

ヒント

- CDおよびテープ出力をそれぞれ別々の機器（あるいはミキサーなどの別々のチャンネル）に出力する場合、COMMON OUT 項目を TAPE に設定すると、CD OUTPUT端子とTAPE COMMON OUTPUT端子からそれぞれCDとテープの信号を個別に出力することができます。
- 1台の外部機器（アンプなど）に本機の出力を送る場合、COMMON OUT 項目を AUTO または MIX に設定すると、本機の状態に応じてCDまたはテープの再生信号が出力されます。

リモコンを準備する

乾電池の入れ方



1. 裏側のふたを開けます。
2. ⊕、⊖の向きに注意して、単3形乾電池を2本挿入します。
3. ふたを閉めます。

乾電池の交換時期

操作範囲が狭くなった、または操作ボタンを押しても動作しない場合は、2本同時に新しい乾電池に交換してください。

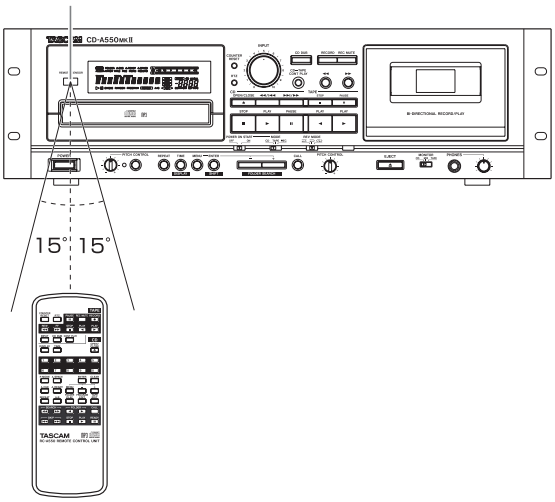
乾電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、液漏れや破裂などの原因となることがあります。乾電池の注意表示、および本書4ページをよくお読みください。

リモコン使用上の注意

- 赤外線によりコントロールするほかの機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンは以下の範囲内でご使用ください。

リモコン受光部



動作距離

正面　　：7メートル以内
左右15度以内：7メートル以内

ディスプレーの輝度を調整する（DIMMER）

本機の使用環境に応じて、ディスプレーの輝度を調整することができます。

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンのMENUボタンを押してメニューモードに入ります。
2. 本体の ー／+ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／+ボタンを使ってメイン表示部に FL DIMMER? を表示し、本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。

FL DIMMER?

3. 本体の ー／+ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／+ボタンを使って、 1 ～ 10 の中から希望の値を選択します。
   数値が大きいほどディスプレーが明るくなります。
   選択値：1 ～ 10（初期値：7）
4. 本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

本機のCDプレーヤーの再生機能を説明します。

再生可能なディスク

本機のCDプレーヤーは、以下のディスクを再生することができます。

CD-DA（オーディオCD）形式のディスク

市販のオーディオCDやオーディオCD形式で作成したCD-R、CD-RWディスクを再生できます。本書では、これらのディスクを「オーディオCD」と呼びます。

CD-ROM（データCD）形式のディスク

MP3ファイルやWAVファイルを収録したディスクを再生できます。本書では、これらのディスクを「データCD」と呼びます。

メモ

- 再生可能なMP3ファイルは、サンプリング周波数32k/44.1k/48kHz、ビットレート32k ～ 320kbpsまたはVBR（可変ビットレート）のファイルです。
  再生可能なWAVファイルは、サンプリング周波数8k ～ 48kHz、8bit ／ 16bitのファイルです。
- 本機は、日本語のディスプレー表示に対応していません。

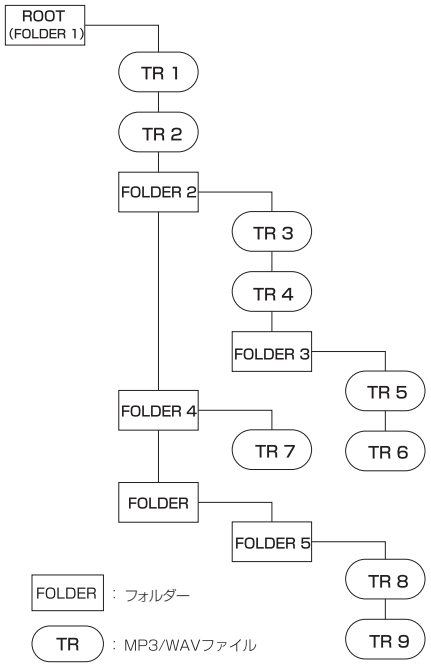
注意

MP3ファイルの圧縮方式がVBRのファイルについて

VBRのファイルは、フォーマット上の制約により正確な位置検出ができません。そのため、コール機能やA-Bリピート機能など、トラック途中でのポイント設定が必要になる機能を本機で行う場合、設定時のポイントと再生を開始するポイントで若干のズレが生じることがあります。

データCDのフォルダーとトラックについて

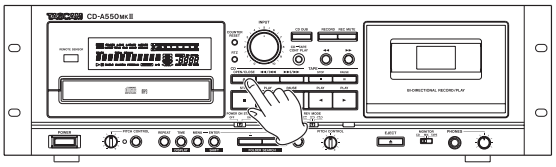
本機は、データCD上の各オーディオファイル（WAVまたはMP3）を「トラック」として扱います。データCDの中には、パソコンのファイルの扱いと同じように、ファイルをフォルダーに収納しているものがあります。さらに、いくつかのフォルダーをまとめて1つのフォルダーに収めるといった、複数階層構造のものもあります。
本機では、各フォルダーにフォルダー番号を付けて管理します。フォルダー番号は、階層の浅いフォルダーから階層の深いフォルダー（サブフォルダー）に向かってゆく方向で割り当てられます。
データCDのルートにオーディオファイルがある場合は、ルートも1つのフォルダーとして扱います。また、各オーディオファイルにはトラック番号を付けて管理します。
トラック番号は、フォルダー番号の若いフォルダー内のファイルから順に割り当てられます。
データCDを通常再生すると、オーディオCDと同じようにトラック番号順に再生されます。
すぐ下の階層にオーディオファイルが収納されていないフォルダーにはフォルダー番号が割り当てられません。たとえば、下図のような構成のディスクの場合、フォルダー 5の上の階層のフォルダーには番号が割り当てられません。

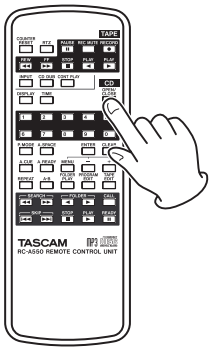


〈データCDの構成例〉

CDをセットする

CDをセットするには、本体またはリモコンの**OPEN/CLOSE**ボタンを押して、ディスクトレーを開き、ラベル面を上にしてディスクを載せます。
再度**OPEN/CLOSE**ボタンを押して、ディスクトレーを閉じます。
ディスクをセットすると本機がディスクの情報を読み取り、オーディオCDの場合は総トラック数と総再生時間、データCDの場合はカレントフォルダーもしくはディスク全体の総トラック数を、ディスプレーに表示します。





メモ

上記で**OPEN/CLOSE**ボタンを押してディスクトレーを閉じる代わりに、本体またはリモコンのCD用**PLAY**ボタン（あるいは本体またはリモコンの**READY**ボタン）を押すと、ディスクトレーを閉じて再生が始まります。

注意

本機を使用中にディスクトレーを開くと、以下の設定が消去されます。

- プログラム
- CALLポイント
- リジュームポイント
- カレントフォルダー（データCDの場合）

トレーロック機能

トレーロック機能をオンに設定すると、再生中および一時停止中の**OPEN/CLOSE**ボタン操作が無効になり、ディスクトレーが開かなくなります。このため、誤った**OPEN/CLOSE**ボタン操作による再生の中断を防ぐことができます。初期設定では、トレーロック機能がオフに設定されています。
トレーロック機能をオンにするには、以下のメニュー操作を行います。

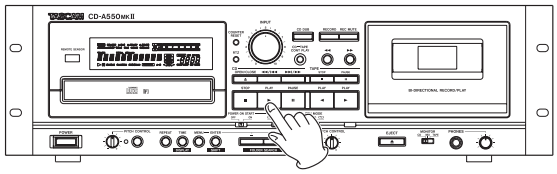
1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンの**MENU**ボタンを押してメニューモードに入ります。
2. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使ってメイン表示部に TRAY LOCK? を表示し、本体の**ENTER** [SHIFT] ボタンまたはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。

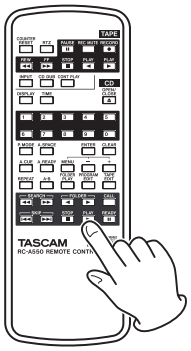
   TRAY LOCK?

3. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使って、 ON を選択します。
   選択値： OFF （初期値）、 ON
4. 本体の**ENTER** [SHIFT] ボタンまたはリモコンの**ENTER**ボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

再生する

以下の説明では、必要な接続を終え、本機の電源がオンになっていて、CD（オーディオCDまたはデータCD）がセットされていることを前提にしています。
CDの再生を始めるには、本体またはリモコンのCD用**PLAY**ボタンを押します。





ヒント

CDとカセットテープを同時に再生することもできます。

再生を停止するには：
本体またはリモコンのCD用**STOP**ボタンを押します。

再生を一時停止するには：
本体またはリモコンの**READY**ボタンを押します。

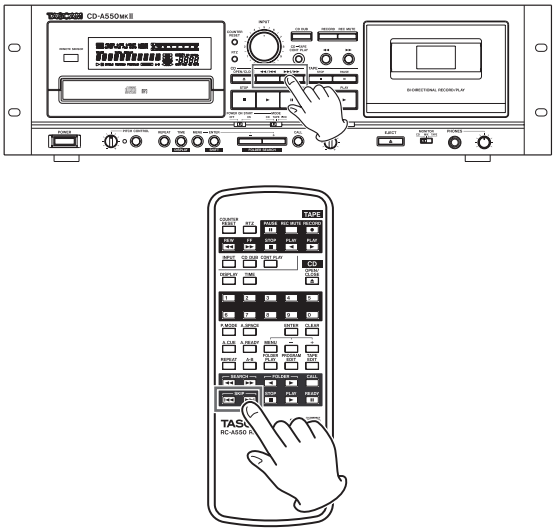
なお、この取扱説明書では特に断らないかぎり、CDの再生モードがCONTINUE（連続再生モード）に設定されているものとして説明しています。

曲を選ぶ

曲を選ぶ方法には、前後のトラックに移動する方法（スキップ）と、トラック番号を直接指定する方法があります。また、データCDの場合、前後のフォルダーにスキップすることもできます。

前後のトラックにスキップする

本体の ◄◄/I◄◄ボタン、►►/►►Iボタンまたはリモコンの**SKIP** I◄◄ ／ ►►Iボタンを押します。なお、リモコンの**SKIP** I◄◄ ／ ►►Iボタンを押したままにすると、次々とトラックをスキップします。



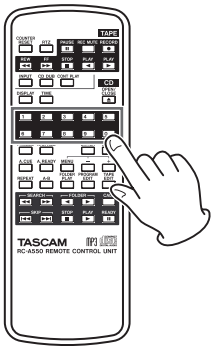
メモ

再生中にトラックをスキップした場合、選択トラックの再生が始まります。
一時停止中または停止中にトラックをスキップした場合、選択トラックの先頭で一時停止します。

トラック番号を指定する

リモコンの数字ボタン（**0** ～ **9**ボタン）を使用して、再生するトラック番号を直接指定することができます。
トラック番号はオーディオCDの場合は最大2桁、データCDの場合は最大3桁です。

1. リモコンの数字ボタン（**0** ～ **9**ボタン）を使って、トラック番号を入力します。



トラック番号は、高い桁の数字から順に入力します。

- **トラック1を指定する場合**
  1ボタンを1回押す。
- **トラック12を指定する場合**
  1ボタン→**2**ボタンの順に押す。

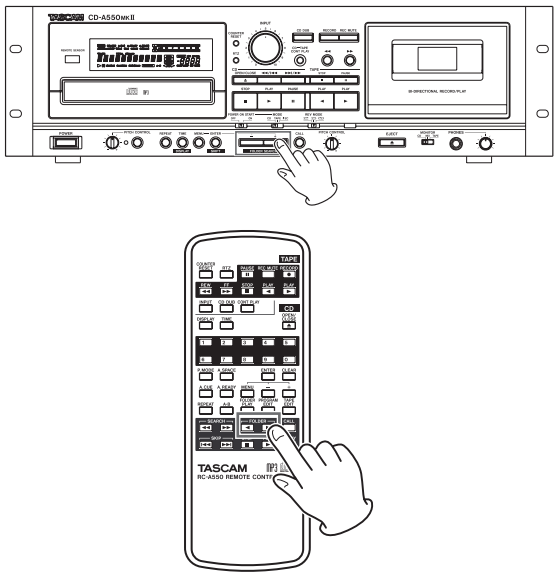
2. 本体またはリモコンのCD用**PLAY**ボタンを押します。
選択したトラックの再生が始まります。

メモ

- CD用**PLAY**ボタンの代わりに**READY**ボタンを押すと、選択したトラックの先頭で一時停止します。
- CD用**PLAY**ボタンの代わりに本体の**ENTER [SHIFT]** ボタンまたはリモコンの**ENTER**ボタンを押すと、上記手順**1.**でトラック番号を入力する前の状態に応じて、以下の動作を行います。
  再生中　　：選択したトラックの再生が始まります。
  一時停止中／停止中：選択トラックの先頭で一時停止します。
- プログラム、ランダムモード時は数字ボタン（**0** ～ **9**ボタン）を使ったトラック指定ができません。

フォルダーを選ぶ（データCDのみ）

データCDの場合は、本体の**SHIFT**ボタンを押しながら **－**／**＋ [FOLDER SEARCH]** ボタンを押すか、またはリモコンの**FOLDER ◄** ／ **►**ボタンを押すことによって、前後のフォルダーにスキップすることができます。
それぞれ、手前または次のフォルダーの先頭トラックにスキップします。なお、ボタンを押したままにすると、次々とフォルダーをスキップします。



メモ

フォルダー再生モードがオンのときは、フォルダーのスキップに伴ってカレントフォルダーも切り換わります。詳しくは、22ページ「フォルダー再生（データCDのみ）」をご覧ください。

早送り／早戻しサーチ

音声を聴きながらトラック内を早送り／早戻しサーチすることができます。

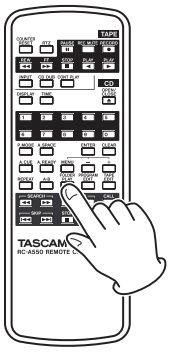
1. 希望のトラックを再生または一時停止にします。
2. 本体の◀◀/I◀◀ボタン、▶▶I/▶▶ボタンまたはリモコンのSEARCH ◀◀ ／ ▶▶ボタンを押し続けます。
   早送り／早戻しサーチが始まります。
3. サーチを止めるには、押し続けているボタンを放します。
   サーチを始める前の状態（再生または一時停止）に戻ります。

フォルダー再生（データCDのみ）

データCDの場合、フォルダー再生モードをオンにすることにより、指定したフォルダー（＝カレントフォルダー）を再生範囲にすることができます。

リモコンからフォルダー再生モードを設定する

リモコンのFOLDER PLAYボタンを押すと、フォルダー再生モードのオン／オフが切り換わり、ディスプレーに現在の設定が表示されます。



FOLDER: ON

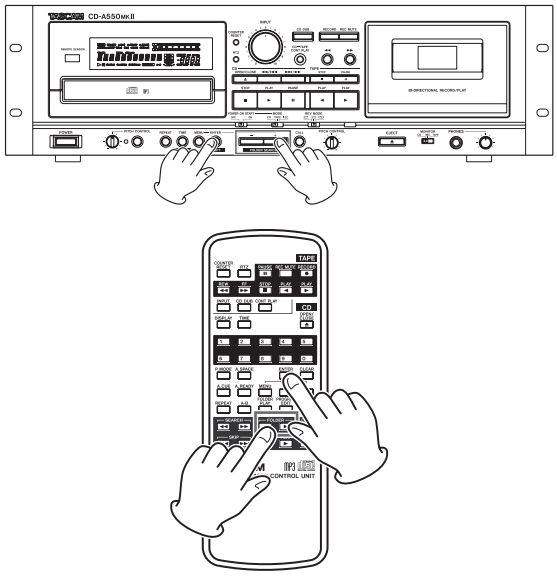
メモ

設定表示は、2秒後に消えます。

設定を切り換えるには、再度FOLDER PLAYボタンを押します。
フォルダー再生機能がオンのとき、ディスプレーに FOLDER が点灯します。

本体からフォルダー再生モードを設定する

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンのMENUボタンを押してメニューモードに入ります。（→ 15ページ「メニューの操作」）
2. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使ってメイン表示部に FLDR PLAY? を表示し、本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。



3. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使って ON を選択します。
4. 本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

FOLDER PLAY 項目を OFF に設定すると、データCD全体が再生範囲になります。

カレントフォルダーを選択するには：

本体操作の場合、停止中にSHIFTボタンを押しながら ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンを押してフォルダーを切り換えます。
リモコン操作の場合、停止中にFOLDER ◀ ／ ▶ボタンを押して切り換えます。
この操作の間、ディスプレーにはフォルダータイトル（アルバムタイトル）が表示されます。
停止中に切り換えた場合、切り換え後にディスプレーが通常表示に戻り、新しいフォルダーの先頭で停止します。
再生中／一時停止中に切り換えた場合、上記操作で希望のフォルダーに切り換わった後、1秒経過後にフォルダーが確定し、ディスプレーにフォルダー名が2秒間表示されます。

メモ

再生モードがプログラムモード時は、再生中／一時停止中のフォルダースキップができません。

注意

カレントフォルダーを切り換えると、以下の設定が消去されます。

- プログラム
- CALLポイント

再生モード

本機は以下の4種類の方法（再生モード）で、トラックを再生することができます。

連続再生（初期設定）

ディスク上のトラックを番号順に再生します。

メモ

データCDでフォルダー再生モード時は、カレントフォルダー内のトラックを番号順に再生します。詳しくは、22ページ「フォルダー再生（データCDのみ）」をご覧ください。

シングル再生

現在選択されているトラックだけを再生し、再生後に停止します。

ランダム再生

ディスク上のトラックを、トラック番号に関係なくランダムに再生します。全トラックの再生を終えると停止します。

メモ

データCDでフォルダー再生モード時は、カレントフォルダー内のトラックをランダムに再生します。（→ 22ページ「フォルダー再生（データCDのみ）」）

プログラム再生

プログラム登録した順序でトラックを再生します。詳しくは、24ページ「プログラム再生」をご覧ください。

再生モードを選択する

再生モードの設定は、リモコンの専用ボタン（**P.MODE**ボタン）を使用して簡単に行うことができます。また、メニューモードを使って本体から設定することもできます。

リモコンの専用ボタンを使う場合

1. リモコンの**P.MODE**ボタンを押すたびに、再生モードが切り換わります。ただし、再生中／一時停止中はプログラム再生（PROG）を選択できません。プログラム再生を選択するには、停止中またはCDがセットされていないときに**P.MODE**ボタンを押してください。ディスプレーに、現在選ばれているモードが次のように表示されます。

ディスプレー	再生モード
無点灯	連続再生
SINGLE	シングル再生
RANDOM	ランダム再生
PROGRAM	プログラム再生

メモ

- **P.MODE**ボタンを押した直後、ディスプレーのメイン表示部に選択したモードが次のように表示されます。

  連続再生モード選択時：CONT
  シングル再生モード選択時：SNGL
  ランダム再生モード選択時：RNDM
  プログラム再生モード選択時：PROG

- 本取扱説明書では、特に断らないかぎり、連続再生モードが選択されている前提で説明を行います。

メニュー操作の場合

1. ディスプレーが通常表示のとき、**MENU**ボタンを押してメニューモードに入ります。（→ 15ページ「メニューの操作」）
2. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンのー／＋ボタンを使ってメイン表示部に PLAY MODE? を表示し、本体の**ENTER** [SHIFT] ボタンまたはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。

   PLAY MODE?

3. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使って、希望の再生モード（上記参照）を選択します。
4. 本体の**ENTER** [SHIFT] ボタンまたはリモコンの**ENTER**ボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

設定した再生モードは、電源を切っても保持されます。

プログラム再生

上記の「再生モードを設定する」で述べたように、再生モードとして PROGRAM を選択すると、本機はプログラム再生を行います。このモードでは、本体またはリモコンのCD用**PLAY**ボタンを押すと設定しているプログラムの1曲目（プログラムステップ 01）から順に再生を行います。
本体の◀◀/⏮ボタン、⏭/▶▶ボタンまたはリモコンの**SKIP** ◀◀ ／ ▶▶ボタンを押すと、手前／次のプログラムステップにスキップします。
プログラム再生を行うには、あらかじめプログラムを設定する必要があります。

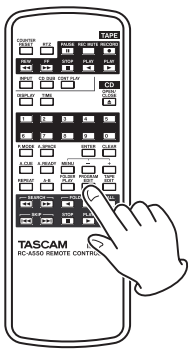
プログラムを設定する

以下に、リモコンを使ってプログラムを設定する手順を説明します。

メモ

現在の再生モードにかかわらず、いつでもプログラムを設定することができます。

1. 停止中に、リモコンの**PROGRAM EDIT**ボタンを押します。



プログラム入力モードになり、以下のように表示されます。

[オーディオCDの場合]

[データCDの場合]

プログラム入力モードでは、ディスプレーに総プログラム時間とプログラムされているトラックの数が表示されます（ただしデータCDの場合は、総プログラム時間が表示されません）。
プログラムに何も登録されていない状態では、 0:00/00 が表示されます。

メモ

メニューの PROGRAM EDIT 項目を選択してプログラム入力モードにすることもできます（メニュー操作に関しての詳細は、15ページ「メニューの操作」をご覧ください）。

2. 数字ボタン（**0**～**9**ボタン）または**SKIP** ⏮ ／ ⏭ボタンを使って、プログラムステップ 01 に登録するトラックを選びます。
数字ボタン（**0**～**9**ボタン）を使った場合、左の桁から順に入力されます。

[オーディオCDの場合]

[データCDの場合]

ポーズプログラム

例外的に、数字ボタン（**0**～**9**ボタン）を使ってトラック番号 0 を入力すると、ポーズ（一時停止）をプログラムすることができます。プログラム再生中にポーズが設定されているプログラムステップになると、本機のCDプレーヤーが一時停止になり、CD用**PLAY**ボタンを押さないと先のプログラムステップに進みません。

メモ

データCDの場合、数字ボタン（**0**～**9**ボタン）または**SKIP** ⏮ ／ ⏭ボタンを押してから1秒以上ボタンを操作しないと、トラック番号表示からファイル名表示に切り換わります。

[ファイル名表示の例]

3. リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
選んだトラックがプログラムに登録され、プログラム入力モードに戻ります。この状態で次のプログラムステップを登録できます。

4. 上記手順**2.**と**3.**を繰り返して、希望のトラックを順次、登録していきます。

5. プログラム設定を終えたら、プログラム入力モード中にリモコンの**ENTER**ボタンまたは**PROGRAM EDIT**ボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

メモ

- 同じトラックを繰り返し登録することも可能です。
- リモコンの**CLEAR**ボタンを押すと、最後に登録したトラックがプログラムから消去されます。
- CD用**STOP**ボタンを押すと、プログラムが全て消去されます。
- 100曲以上を登録しようとすると、エラーメッセージ PGM Full! が表示されます。登録できるのは、99曲までです。
- プログラムしたトラックの総再生時間が999分59秒を越えると、 ---:-- と表示されます。
- 最初のプログラムステップには、ポーズをプログラムすることができません。
- 2ステップ続けてポーズプログラムを入力することはできません。
- プログラム入力モード時に **－**／**＋**ボタンを使うと表示しているプログラムステップが切り換わり、プログラム内容を確認することができます。
- 電源を切ってもプログラム再生モードは解除されません。また、プログラム設定も記憶されています。
- プログラム再生モードでは、トラックが1つもプログラム登録されていないときは、再生が行われません。

プログラムを全て消去する

上記のように、プログラム入力モード中にCD用**STOP**ボタンを押すと、プログラムを全て消去することができますが、このほかに以下のいずれかを行うとプログラムが全て消去されます。

- ディスクトレーを開く。
- フォルダー再生機能のオン／オフ設定を変更する。
- 再生モードを変更する。
- フォルダーを切り換える。

プログラムを確認する

プログラムの内容を確認することができます。

1. リモコンの**PROGRAM EDIT**ボタンを押して本機をプログラム入力モードにします。
2. リモコンの **+**ボタンを押すたびに、プログラムステップ**1**から順に登録トラックが表示されます。また、**−**ボタンを押すたびに、最後のプログラムステップから逆順に登録トラックが表示されます。

プログラムを編集する

すでにあるプログラムを編集することができます。

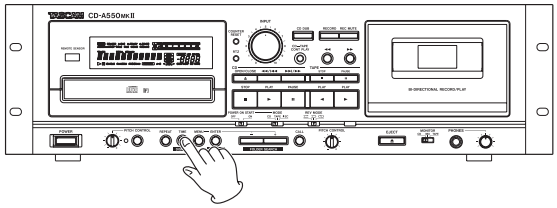
1. リモコンの**PROGRAM EDIT**ボタンを押して、本機をプログラム入力モードにします。
2. リモコンの **−**／**+**ボタンを使って、編集したいプログラムステップを選択します。

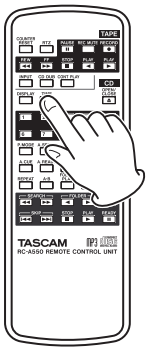
- **トラックを差し換えるには：**
  数字ボタン（**0**～**9**ボタン）または**SKIP** ⏮ ／ ⏭ボタンを使って登録したいトラックを選択し、リモコンの**ENTER**ボタンを押します。
  選んだトラックに差し換えられ、プログラム入力モードに戻ります。
- **トラックを消去するには：**
  リモコンの**CLEAR**ボタンを押します。
  登録しているトラックが消去され、それ以降のトラックのプログラムステップが繰り上がります。

再生時間表示モード

ディスプレーに表示される再生時間の表示モードを選択することができます。

1. 本体の**TIME [DISPLAY]** ボタン（またはリモコンの**TIME**ボタン）を押します。
   ボタンを押すたびに、3種類の時間表示が切り換わります。
   現在選ばれている表示モードは、メイン表示部の上に点灯します。





点灯なし
　現在のトラックの経過時間を表示します。

REMAIN が点灯
　現在のトラックの残時間を表示します。

TOTAL と REMAIN が点灯
　総残時間を表示します。

メモ

- 停止中は、 TOTAL および REMAIN の点灯状態にかかわらず、常に総時間を表示します。
- データCDの場合、停止中の総時間、再生中の残時間および総残時間が表示されません（トラック数あるいはトラック番号のみが表示され、時間表示は −− 表示になります）。
- プログラム再生モードでは、プログラム全体の経過時間や残時間を表示します。
- 時間表示モード設定は、電源を切っても保持されます。

文字情報表示モード

ディスプレーに文字情報を表示することができます。
データCDの場合はID3タグ情報、オーディオCDの場合はCDテキスト情報が表示されます。これらの情報がディスクやファイルに記録されていない場合は表示されません。

1. 文字情報を表示するには、本体の**SHIFT**ボタンを押しながら**TIME [DISPLAY]** ボタンを押します（またはリモコンの**DISPLAY**ボタンを押します）。押すたびに文字情報内容が切り換わります（以下参照）。

現在選ばれている表示モードは、メイン表示部の上に点灯します。再生中と停止中とで表示内容が異なります。また、データCDとオーディオCDとで表示内容が異なります。

TITLE

A Song for

[オーディオCD／データCD　タイトル表示の場合]

FILE

FileName001

[データCD ファイル名表示の場合]

再生中

- TITLE **が点灯**
  トラックタイトルを表示します。
- ARTIST **が点灯**
  トラックアーティスト名を表示します。
- FILE が点灯（データCDのみ）
  ファイル名を表示します。

停止中

- ALBUM TITLE が点灯
  アルバムタイトルを表示します。（オーディオCDのみ）
  フォルダー名かボリュームラベルを表示します。（データCDのみ）
- ALBUM ARTIST が点灯（オーディオCDのみ）
  アルバムアーティスト名を表示します。

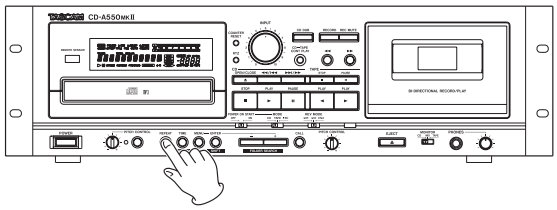
2. ディスプレーを時間表示に戻すには、本体の**TIME [DISPLAY]** ボタンまたはリモコンの**TIME**ボタンを押します。

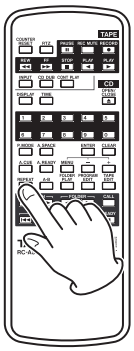
リピート再生

全トラックを繰り返し再生する、またはトラック内の任意の区間を繰り返し再生（A-Bリピート再生）することができます。

通常のリピート再生

本体またはリモコンの**REPEAT**ボタンを押してリピート再生をオンにすると（ディスプレーに　REPEAT　が点灯）、全トラックが繰り返し再生されます。





メモ

- データCDでフォルダー再生機能をオンに設定している場合、カレントフォルダー内のトラックが全トラックになります。
- プログラム再生モード中にリピート再生をオンにすると、プログラムが繰り返し再生されます。シングル再生モード中にリピート再生をオンにすると、選択中のトラックが繰り返し再生されます。
- オートレディ機能がオンのとき、リピート機能のオン／オフ設定にかかわらず各トラックの先頭で一時停止になります。繰り返し再生を行うには、オートレディ機能をオフにしてください。

再生中にリピート再生をオンにした場合はそのまま再生を続け、最後まで再生すると先頭に戻って再生を続けます。停止中にオンにした場合は、CD用**PLAY**ボタンを押すとリピート再生が始まります。
リピート再生をオフにするには、本体またはリモコンの**REPEAT**ボタンをもう一度押します（ディスプレーの　REPEAT　が消灯します）。

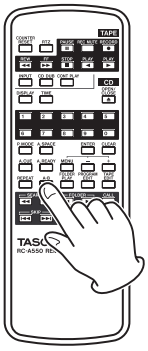
メモ

リピート機能のオン／オフ設定は、電源を切っても保持されます。

A-Bリピート再生

トラック内の任意の区間（A-B）を指定して、繰り返し再生することができます。

1. 再生中または一時停止中に、リピート再生区間の始点（A）にしたい位置で、リモコンの**A-B**ボタンを押します。
   ディスプレーに REPEAT と A が点灯し、B が点滅します。



メモ

REPEATボタンを押すと、リピート再生の始点（A）が解除され、REPEAT と A- が消灯します。

2. リピート再生区間の終点（B）にしたい位置で、再度リモコンの**A-B**ボタンを押します。
   ディスプレーに（REPEAT に加えて）A-B が点灯します。
   これで区間（A-B）が確定し、A-Bリピート再生が始まります。

メモ

トラックをまたいでのA-Bリピート再生はできません。

A-Bリピート再生を解除するには：

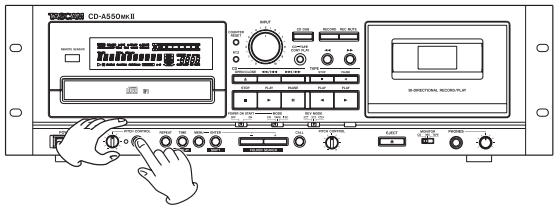
リモコンの**A-B**ボタンまたは**REPEAT**ボタンを押します。
ディスプレーの REPEAT と A-B が消灯し、A-Bリピート再生が解除されます。

メモ

- A-Bリピート再生中に解除した場合は、B点を越えても再生が続きます。
- CD用**STOP**ボタンを押して停止状態にすると、指定した区間（A-B）が消去されます。

ピッチコントロール

CDのピッチ（音の高さと再生の速さ）を変えて再生することができます（ピッチコントロール再生）。
ピッチコントロール再生を行うには、以下の操作を行います。



1. 本体の**PITCH CONTROL**ボタンを押して、ピッチコントロール再生をオンにします。
   PITCH CONTROLボタン脇のインジケーターが点灯します。
2. 本体のCD用**PITCH**つまみを回してピッチを設定します。
   -12.5% ～+12.5%の範囲で設定することができます。

ピッチコントロール再生をオフにするには：

本体の**PITCH CONTROL**ボタンを押します。
PITCH CONTROLインジケーターが消灯し、ピッチコントロール再生がオフになります。

注意

- 再生中にピッチコントロール再生のオン／オフを切り換えると、再生音が瞬間的に途切れることがあります。
- データCD（MP3、WAV）をピッチコントロール再生すると、再生音が途切れる場合があります。

オートキュー機能（オーディオCDのみ）

オートキュー機能をオンにすると、トラックを選択したときに、トラック冒頭の無音部分をスキップしてトラックの実際の「信号」が立ち上がる位置で一時停止します。そのため、再生を始めた直後に音が出ます。

メモ

- データCDに対しては、オートキュー機能を使えません。
- オートキュー機能がオンのとき、再生中にトラックを選択した場合であっても、トラック選択後に「信号」が立ち上がる位置で一時停止します。

なお、オートキュー機能動作時におけるオーディオ信号検出のスレッショルドレベル（=オートキューレベル）を設定することができます。
本機は、オートキューレベル以上の信号を「信号」、オートキューレベル以下の信号を「無音」として扱います。
以下の手順で、メニューを使ってオートキュー機能のオン／オフおよびオートキューレベルの設定を行います。

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンのMENUボタンを押してメニューモードに入ります。（→ 15ページ「メニューの操作」）
2. 本体の ー／+ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／+ボタンを使ってメイン表示部に AUTO CUE? を表示し、本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。

   AUTO CUE?

3. 本体の ー／+ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／+ボタンを使って、希望の値を選択します。
   以下の中から選択することができます。
   OFF　以外の値を選んだ場合はオートキュー機能がオンになり、それぞれの数値がオートキューレベルになります。

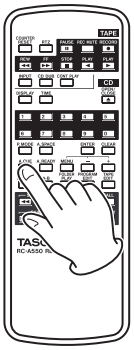
   選択値：OFF（初期値、オートキュー機能オフ）、-24dB、-30dB、-36dB、-42dB、-48dB
4. 本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。
   オートキュー機能がオンのとき、ディスプレーに A.CUE が点灯します。

メモ

- オートキュー設定は、電源を切っても保持されます。
- データCDでは、オートキュー機能を使えません。

リモコンの専用ボタンでオン／オフを切り換える

リモコンのA.CUEボタンを押すと、オートキュー機能のオン／オフが切り換わります。

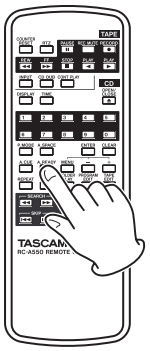


メモ

- オートキュー設定は、電源を切っても保持されます。
- A.CUEボタンの操作では、オートキューレベルを設定することはできません。

オートレディ機能

オートレディ機能をオンにすると、トラックの再生が終了した後、次のトラックの先頭で一時停止になります。
リモコンのA.READYボタンを押すと、オートレディ機能のオン/オフが切り換わります。
オートレディ機能がオンのとき、ディスプレーに A.READY が点灯します。



本体でオン／オフを切り換える

メニューを使って、本体からオートレディ機能のオン／オフを行うこともできます。

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンのMENUボタンを押してメニューモードに入ります。（→ 15ページ「メニューの操作」）
2. 本体の ー／+ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／+ボタンを使ってメイン表示部に AUTO READY? を表示し、本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。

   AUTO READY?

3. 本体の ー／+ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／+ボタンを使って、 ON または OFF を選択します。

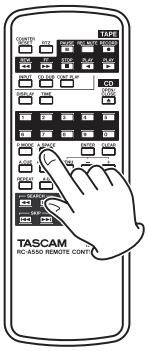
   選択値：OFF（初期値）、ON
4. 本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

メモ

オートレディ設定は、電源を切っても保持されます。

オートスペース機能

オートスペース機能をオンにすると、再生トラックの間に4秒間のスペースが自動的に作られます。
再生トラックが次のトラックに移るときにCD再生を一時停止し、4秒後に次のトラックの再生を始めます。
リモコンの**A.SPACE**ボタンを押すと、オートスペース機能のオン／オフが切り換わります。
オートスペース機能がオンのとき、ディスプレーに　A.SPACE　が点灯します。



メモ

オートスペース機能を使うには、オートレディ機能をオフにしていなければなりません。
オートレディ機能がオンのとき、オートスペース機能は動作しません。

本体でオン／オフを切り換える

メニューを使って、本体からオートスペース機能のオン／オフを行うこともできます。

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンの**MENU**ボタンを押してメニューモードに入ります。（→ 15 ページ「メニューの操作」）
2. 本体の **ー／＋ [FOLDER SEARCH]** ボタンまたはリモコンの **ー／＋**ボタンを使ってメイン表示部に AUTO SPACE? を表示し、本体の**ENTER [SHIFT]** ボタンまたはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。

AUTO SPACE?

3. 本体の **ー／＋ [FOLDER SEARCH]** ボタンまたはリモコンの **ー／＋**ボタンを使って、 ON　または　OFF　を選択します。
   選択値：OFF（初期値）、ON
4. 本体の**ENTER [SHIFT]** ボタンまたはリモコンの**ENTER**ボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

メモ

オートスペース設定は、電源を切っても保持されます。

インクリメンタルプレイ

インクリメンタルプレイ機能をオンにすると、再生中にCD用**PLAY**ボタンを押したときに次のトラックの先頭から再生を行い、再生中にCD用**STOP**ボタンを押したときに次のトラックの先頭で一時停止します。

メモ

インクリメンタルプレイ機能オンのとき、一時停止中にCD用**PLAY**ボタンを押すとその位置から再生を開始し、一時停止中にCD用**STOP**ボタンを押すと停止します。
なお、最終トラックを再生中にCD用**PLAY**ボタンを押すと先頭のトラックから再生を行い、CD用**STOP**ボタンを押すと先頭のトラックで一時停止します。

メニューを使ってインクリメンタル機能のオン／オフを行います。

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンの**MENU**ボタンを押してメニューモードに入ります。（→ 15 ページ「メニューの操作」）
2. 本体の **ー／＋ [FOLDER SEARCH]** ボタンまたはリモコンの **ー／＋**ボタンを使ってメイン表示部に INCR PLAY? を表示し、本体の**ENTER [SHIFT]** ボタンまたはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。

INCR PLAY?

3. 本体の **ー／＋ [FOLDER SEARCH]** ボタンまたはリモコンの **ー／＋**ボタンを使って、 ON　または　OFF　を選択します。
   選択値：OFF（初期値）、ON
4. 本体の**ENTER [SHIFT]** ボタンまたはリモコンの**ENTER**ボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

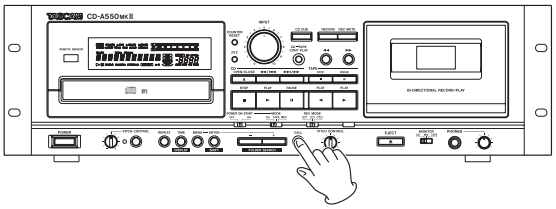
インクリメンタルプレイ機能がオンのとき、再生時にディスプレーに　TRACK　が点滅します。

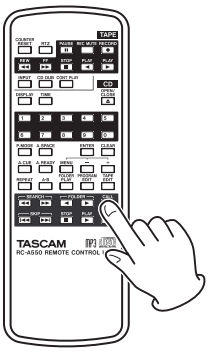
メモ

インクリメンタルプレイ設定は、電源を切っても保持されます。

コール機能

コール機能とは、最後に一時停止から再生を開始したポイント（コールポイント）に戻って一時停止する機能です。
コール機能を実行するには、再生中または停止中、本体またはリモコンのCALLボタンを押します。





コールポイントは以下の操作を行うと消去されます。

- 電源を切る。
- ディスクトレーを開く。
- 再生モードを切り換える。
- フォルダー再生機能のオン／オフ設定を変更する
- フォルダーを切り換える。

メモ

- コールポイントが設定されていないときにCALLボタンを押すと、メイン表示部に No Call Pt! が表示されます。
- ランダム再生モードでは、コール機能を使用できません。

リジューム再生

リジューム再生機能をオンにすると、前回再生を停止した位置（リジュームポイント）から再生を開始することができます。
リジューム再生機能がオンのとき、ディスプレーに RESUME が点灯します。

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンのMENUボタンを押してメニューモードに入ります。
2. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使ってメイン表示部に RESUME? を表示し、本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。

   RESUME?

3. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使って ON または OFF を選択します。

   選択値：OFF（初期値）、ON

4. 本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

メモ

- リジュームポイントのオン／オフ設定は、電源を切っても保持されます。
- 以下の操作のいずれかを行うとリジュームポイントが消去されます。

  ディスクトレーを開く。
  フォルダー再生機能のオン／オフ設定を変更する。
  フォルダーを切り換える。
  再生モードを変更する。

EOM機能

EOM（End Of Message）機能をオンにしておくと、オーディオCD再生時にトラックの残り時間が設定した時間になったとき、本機の再生時刻表示が点滅を始めます。
メニューを使って、EOM機能の設定を行います。

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンのMENUボタンを押してメニューモードに入ります。（→ 15ページ「メニューの操作」）
2. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使ってメイン表示部に EOM DISP? を表示し、本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。

   EOM DISP?

3. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使って、以下の中から希望の値を選択します。

   選択値：OFF（初期値、EOM機能が働きません）、5sec、10sec、15sec、20sec、25sec、30sec、35sec

   OFF　以外はEOM機能がオンで、それぞれの秒数は、残り時間の何秒前に本機の再生時刻表示が点滅を始めるかを表します。

4. 本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

メモ

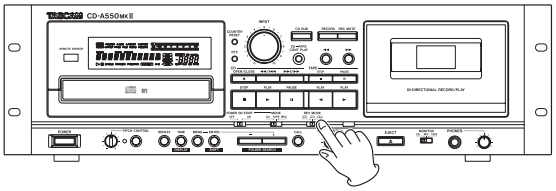
この設定は、電源を切っても保持されます。

本機のカセットレコーダーを使った再生機能を説明します。
以下の説明は、本機の電源がオンで、信号を録音したカセットテープがA面を手前に装着されていることを前提としています。

再生の準備

リバースモードを選ぶ

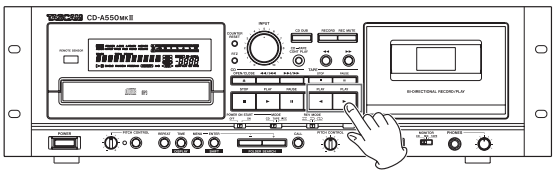
REV MODEスイッチを使ってリバースモードを設定します。

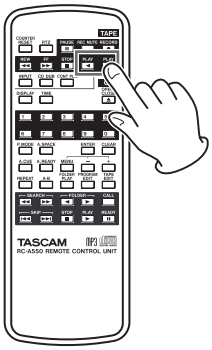


：A面とB面を繰り返し5往復再生します。
：A面とB面を両面再生して停止します。
：A面またはB面を片面再生して停止します。

再生する

A面を再生する場合は本体またはリモコンのTAPE用**PLAY［►］**ボタン、B面を再生する場合は**PLAY［◄］**ボタンを押します。



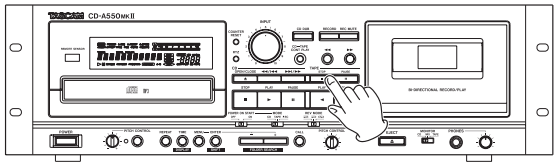


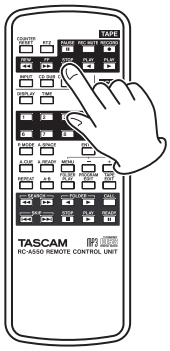
ヒント

CDとカセットテープを同時に再生することもできます。

再生を止めるには：

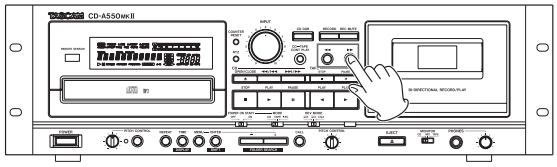
TAPE用**STOP**ボタンを押します。

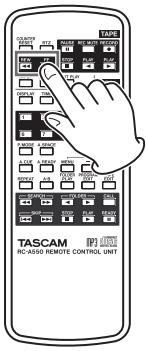




早送り／巻き戻しをするには：

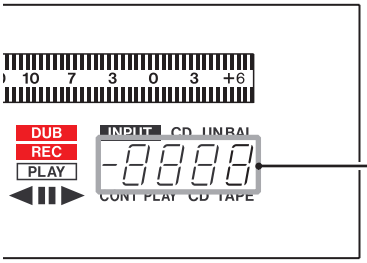
本体またはリモコンのTAPE用 ◄◄ ボタン／ ►► ボタンを押します。
中断したいときは、TAPE用**STOP**ボタンを押してください。



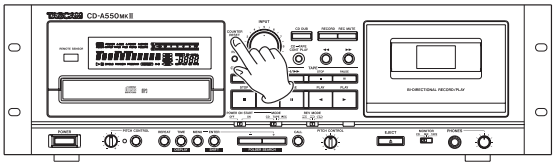


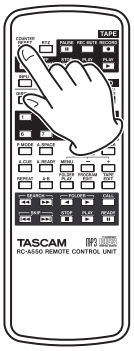
テープカウンター

テープを左から右に走行するとテープカウンター値が増え、右から左に走行すると値が減ります。

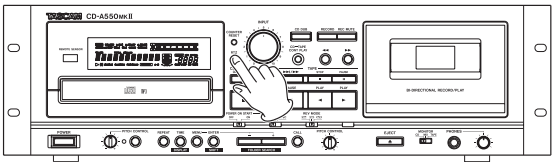


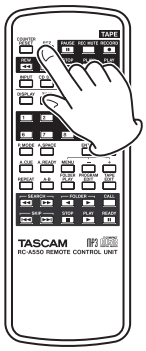
本体またはリモコンの**COUNTER RESET**ボタンを押すと、テープカウンターが 0000 にリセットされます。





RTZ





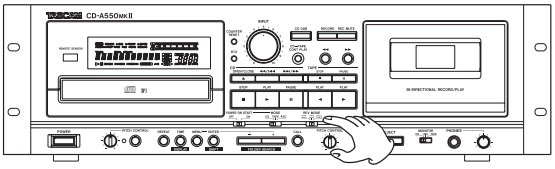
本体またはリモコンの**RTZ**ボタンを押すと、カセットテープがカウンターゼロポイント（0000）にロケートします。ただし、9996 ～ 0004 の間は**RTZ**ボタンを押しても 0000 にロケートしません。

ヒント

RTZは、Return to Zeroの略語です。

ピッチコントロール

カセットレコーダーの再生時にピッチを変えることができます。



本体のTAPE用**PITCH CONTROL**つまみを右に回すと、再生スピードが速くなり再生音の高さが上がります。左に回すと、再生スピードが遅くなり再生音の高さが下がります。つまみのセンターにはクリックがあり、この位置が標準ピッチです。
ピッチの可変範囲は約±10%です。

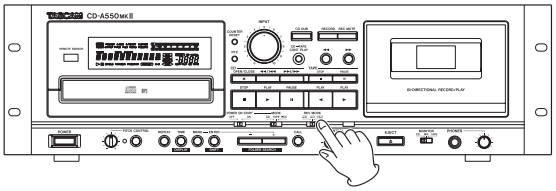
メモ

- リモコンからカセットのピッチをコントロールすることはできません。
- CDのピッチコントロールにはオン／オフを行うボタン（**PITCH CONTROL**ボタン）がありますが、カセットレコーダーのピッチコントロールにはオン／オフを行うボタンがありません。
  標準ピッチで再生を行うには、**PITCH CONTROL**つまみをセンター（クリック）位置にセットしてください。

本機のカセットレコーダーを使って録音を行うことができます。
以下に、リバースモードの設定、入力の選択といった録音の準備から実際の録音を開始するまでの手順を説明します。
以下の説明は、本機の電源がオンで、録音可能な（つめの折れていない）カセットテープが装着されていることを前提としています。

録音の準備

リバースモードを選ぶ



REV MODEスイッチを使って、片面録音または両面録音を選択します。

⇄　：A面とB面の両面を録音後に停止。
⇀　：A面またはB面の片面を録音後に停止。

メモ

⇄を選択した場合は、⇄選択時の動作と同じ、A面とB面の両面を録音後に停止します。

録音ソースを選ぶ

リモコンの専用ボタンを使う場合

リモコンの**INPUT**ボタンを使って、希望の入力ソースを選択します。ボタンを押すたびに入力ソースが切り換わり、ディスプレーのメイン表示部に入力ソースが表示されます。

INPUT CD　　：本機のCDプレーヤーの再生信号がソースになります。
INPUT UNBAL：リアパネルの**TAPE INPUT(UNBALANCED)**端子の入力信号がソースになります。

メニューを使う

メニューを使って録音ソース信号（＝入力ソース）を選択することができます。

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンの**MENU**ボタンを押してメニューモードに入ります。
2. 本体の **ー／＋ [FOLDER SEARCH]** ボタンまたはリモコンの **ー／＋**ボタンを使ってメイン表示部に TAPE INPUT? を表示し、本体の**ENTER [SHIFT]** ボタンまたはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。

TAPE INPUT?

3. 本体の **ー／＋ [FOLDER SEARCH]** ボタンまたはリモコンの **ー／＋**ボタンを使って、入力ソースを以下の中から選択します。

CD：本機のCDプレーヤーの再生信号がソースになります。
UNBAL（初期値）：リアパネルの**TAPE INPUT (UNBALANCED)**端子の入力信号がソースになります。

4. 本体の**ENTER [SHIFT]** ボタンまたはリモコンの**ENTER**ボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

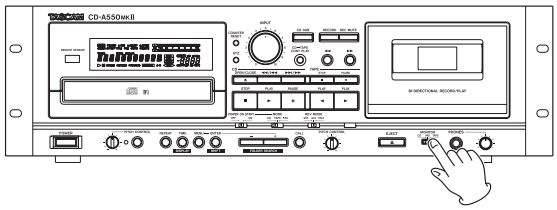
メモ

CDを録音する場合、CDダビング機能を使うと便利です。その場合の操作については、34ページ「CDをテープにダビングする」をご覧ください。

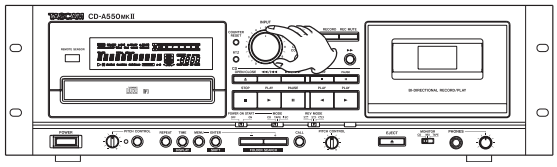
録音する

上記の準備が整ったら、録音レベルを設定してから録音を行います。

1. 本体またはリモコンの**RECORD**ボタンを押します。
録音待機状態になり、ディスプレー上ではメーターが入力レベルを表示し、REC　が点灯します。また、**TAPE COMMON OUTPUT**端子から録音ソースの音が出力されます。なお、**MONITOR**スイッチを「**MIX**」または「**TAPE**」に設定すると、**PHONES**端子からも出力されます。



2. 録音レベルを設定します。
録音ソースを再生し、メーターを見ながら最適レベルになるように、本体の**INPUT**つまみを使って調節します。
一番レベルの高いときのメーターの指示が0dBぐらいになるように設定します。



3. テープ走行方向を確認／選択します。
ディスプレーのリバース／フォワード表示（◄ または ►）が、現在のテープ走行方向を示しています。
逆の方向に録音したい場合は、録音方向のTAPE用**PLAY**ボタンを押すとテープ走行方向が変わります。
4. 本体またはリモコンのTAPE用**PLAY**ボタン、および本体またはリモコンの**PAUSE**ボタンを押して録音を開始します。

録音を止めるには：

TAPE用**STOP**ボタンを押します。

録音を一時停止するには：

PAUSEボタンを押します。
この状態から録音を再開するには**PAUSE**ボタンまたはTAPE用**PLAY**ボタンを押します。

レックミュート機能

録音中に本体またはリモコンの**REC MUTE**ボタンを押すと、約4秒間の無信号録音が行われた後、一時停止します。
録音を再開するには、本体またはリモコンのTAPE用**PLAY**ボタン（リモコンの**PAUSE**ボタン）を押します。
4秒以上のスペースを作るには、本体またはリモコンの**REC MUTE**ボタンを4秒以上押し続けます。4秒以上押し続けて指を離したときに一時停止状態になります。
4秒以下のスペースを作るには、無信号録音中に**PAUSE**ボタンを押すと、直ちに録音一時停止状態になります。

メモ

- 無信号録音中に再度**REC MUTE**ボタンを押すと、通常の録音が再開されます。
- 録音一時停止中に**REC MUTE**ボタンを押すと、約4秒間の無信号録音が行われた後、一時停止します。

CDをテープにダビングする

本体またはリモコンの**CD DUB**ボタンを使って、本機にセットしたCDをワンタッチでカセットテープにダビングすることができます（CDダビング機能）。

メモ

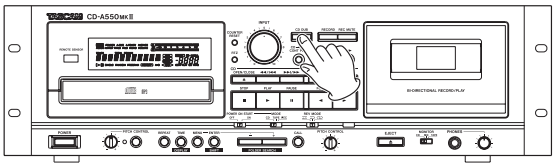
- 入力ソースを選択する必要はありません。

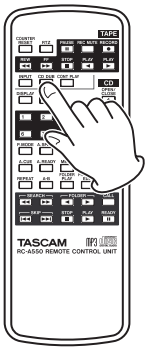
  録音レベルは初期設定では自動的に設定されます。ただし手動で設定することもできます。（→ 34ページ「録音レベルを調整してダビングする」）
- CDダビングの際もCDのプログラム再生、ランダム再生、シングル再生、リピート再生などの機能が使えますので、必要に応じて設定を行ってください。
- CDダビング時は、オートレディ機能、インクリメンタルプレイ機能を使うことができません。

以下の操作説明は、コピー元のCDおよび録音可能なカセットテープが本機にセットされていることを前提にしています。

基本ダビング（テープのA面の頭から録音）

1. 停止中に、本体またはリモコンの**CD DUB**ボタンを押します。





自動的にA面の頭までテープが巻き戻され、テープカウンターが 0000 にリセットされます。CDは、最初の曲の頭で一時停止して待機します。
次にカセットは、約8秒の無信号録音を行った後（リーダーテープ部分を避けるため）、CDが再生を始めると同時にカセットレコーダーが録音モードになり、ダビングを開始します（ディスプレー内の DUB が点灯）。

メモ

- CD再生が終わるか、テープエンドに来てテープが停止（どちら面のエンドで停止するかはリバースモードによります）すると、ダビングが終了します。
- 両面録音モードでダビング中、録音開始時の面の最後に録音される曲が終わらないうちに走行方向が反転した場合、その曲は新たに冒頭から録音されます。
- 両面録音モードでダビング中、走行方向が反転後8秒間は録音を行いません（カセットレコーダーは録音モードですがCDが再生を一時停止します）。
- ダビングを途中でやめるには、TAPE用または**CD用S**TOPボタンを押します。

録音レベルを調整してダビングする

初期設定では、CDをテープにダビングするときの録音レベルは自動的に設定されますが、**INPUT**つまみを使って録音レベルを調節してダビングすることもできます。

1. 録音ソースを CD に設定します。（→ 33ページ「録音ソースを選ぶ」）

2. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンの**MENU**ボタンを押してメニューモードに入ります。

3. 本体の **ー／＋ [FOLDER SEARCH]** ボタンまたはリモコンの **ー／＋**ボタンを使って、メイン表示部に DUB LEVEL? を表示し、本体の**ENTER [SHIFT]** ボタンまたはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。

DUB LEVEL?

4. 本体の **ー／＋ [FOLDER SEARCH]** ボタンまたはリモコンの **ー／＋**ボタンを使って VARI を選択します。

選択値：FIX（初期値）、VARI

5. 本体の**ENTER [SHIFT]** ボタンまたはリモコンの**ENTER**ボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

6. 本体またはリモコンの**RECORD**ボタンを押して、録音待機状態にします。
録音ソースモニターになります。

7. CDを再生します。
メーターに録音レベルが表示されます。

8. **INPUT**つまみを使って、録音レベルを調節します。（→ 33ページ「録音する」）

9. CD用**STOP**ボタンを押してCDを停止し、TAPE用**STOP**ボタンを押して録音待機を解除します。

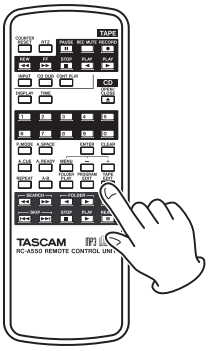
10. 本体またはリモコンの**CD DUB**ボタンを押します。

上記の「基本ダビング」のときと同じように本機が動作し、ダビングが行われます。

テープエディット機能を使う

テープエディット機能を使って、本機が自動的に組んだプログラムにしたがって、テープ長に合わせたダビングを行うことができます。テープエディット機能では、テープのA面の時間内に収まる範囲でCDのトラック1から順にプログラムされ、その次のトラックから順にB面に収まるようにプログラムされます。

1. CDの停止中に、リモコンの**TAPE EDIT**ボタンを押します。
   テープエディットモードになり、ディスプレーのメイン表示部が以下のような表示になります。



TAPE> C 30

メモ

メニューの TAPE EDIT 項目を選択して、テープエディットモードにすることもできます。

2. 本体の **－／＋ [FOLDER SEARCH]** ボタンまたはリモコンの **－／＋**ボタンを使って、セットされているテープの長さに合わせて値を選択します。
   選択できるテープ長は、30、46、54、60、80、90、120 です。（初期値：30）

注意

テープエディット機能では 120 （120分テープ）を選択できますが、この製品では90分を超えるテープのご使用はお勧めできません。（→ 8ページ「お使いいただけないカセットテープ」）

3. 本体の**ENTER [SHIFT]** ボタンまたはリモコンの**ENTER**ボタンを押します。
   プログラムが組まれていない場合は、指定されたテープ長に合うように本機が自動的にプログラムを作成します。
   すでにプログラムが組まれている場合は、ディスプレーのメイン表示部に OVERWRITE? が表示されます。再度本体の **ENTER [SHIFT]** ボタンまたはリモコンの**ENTER**ボタンを押すと、現在のプログラムが廃棄され、指定されたテープ長に合うように本機が自動的にプログラムを作成します。

応用編

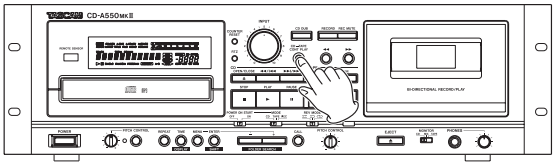
テープの途中から録音する

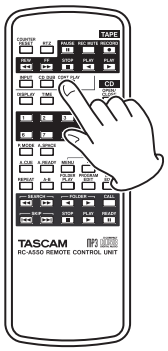
1. 録音したい位置までテープを送ります。
2. 本体またはリモコンの**RECORD**ボタンを押して、録音待機状態にします。
   ディスプレーに REC と ❚❚ が点灯します。
3. 本体またはリモコンの**CD DUB**ボタンを押します。
   録音方向設定にしたがって、その位置からダビングを開始します。

CDとテープの連続再生

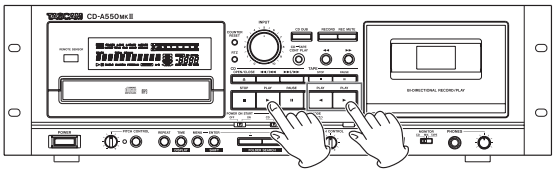
本機にセットしたCDとカセットテープを交互に再生することができます。CDの再生を停止するとテープが再生を開始し、テープの再生を停止するとCDが再生を開始します。
以下の手順では、録音されているカセットテープとCDがセットされていることを前提にしています。

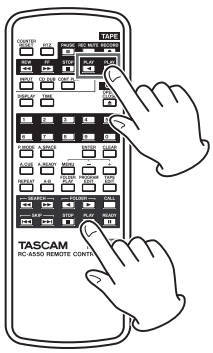
1. 本体の**CD-TAPE CONT PLAY**ボタンまたはリモコンの**CONT PLAY**ボタンを押します。



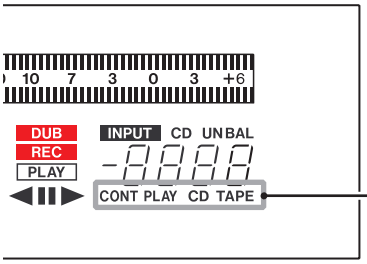


2. CD用またはTAPE用**PLAY**ボタンを押します。





押したボタンに応じて、CDまたはカセットテープの再生が始まります。再生を終えると、もう一方の再生が自動的に始まります。
連続再生モード中は、ディスプレー上に CONT PLAY が点灯し、再生中のメディア（TAPEまたはCD）が点滅します。



メモ

- TAPE用**STOP**ボタンを押して手動で再生を止めた場合も、もう一方の再生が自動的に始まります。
- CDがREPEATモードで再生している場合、手動でCDの再生を停止するまでは、テープの再生を開始しません。また、テープのリバースモードが（⇄）の場合、テープが5往復して再生停止するか、あるいは手動で再生停止するまでは、CDの再生を開始しません。

3. 連続再生モードを解除するには、もう一度本体の**CD-TAPE CONT PLAY**ボタンまたはリモコンの**CONT PLAY**ボタンを押します。

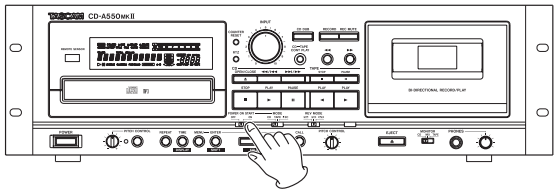
メモ

工場出荷時には、CDとテープの再生音がそれぞれ**CD OUTPUT**端子、**COMMON OUTPUT**端子から独立に出力されます。メニューの COMMON OUT 項目を MIX または AUTO に設定することにより、**COMMON OUTPUT**端子からテープとCD両方の音を出力することができます。（→ 18ページ「COMMON OUTの設定」）

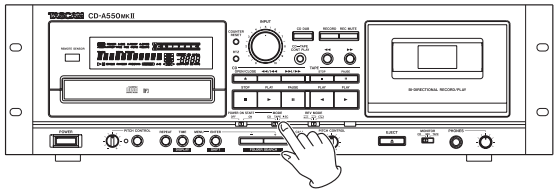
パワーオンスタート

本機の電源を入れたときに、自動的にCDやカセットテープが再生を開始する、または自動的にカセットテープが録音を開始するように設定することができます。

1. 本機の電源がタイマーの電源出力から供給されるように、本機の電源コードをタイマーに接続します。
2. 再生するCDまたはカセット、または録音するカセットを、本機にセットします。
3. **POWER ON START**スイッチを「**ON**」に設定します。



4. **MODE**スイッチを希望のポジションに設定します。



CD：電源が入るとCDの再生が始まります。
TAPE：電源が入るとカセットテープの再生が始まります。
REC：電源が入るとカセットテープの録音が始まります。

5. タイマーを「切」にします。
本機の電源が切れます。

これで準備が整いました。
タイマーが「入」になると本機の電源がオンになり、設定した動作が自動的に始まります。

出荷時の設定に戻す

以下の項目を工場出荷時の設定に戻すことができます。

- メニューの全項目（ → 初期値）
- リピート再生機能（ → オフ）
- 再生時間表示（ → トラック経過時間の表示）
- 文字情報表示（ → アルバム名の表示）
- CDのピッチコントロール（ → オフ）
- プログラム設定（ → 消去）

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンのMENUボタンを押してメニューモードに入ります。
2. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使ってメイン表示部に DEFAULT? を表示し、本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。
   確認表示（SURE?）になります。

[出荷時設定のメニュー表示]

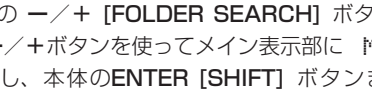
[出荷時設定の確認表示]

3. 本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。

モノラル再生

CDおよびカセットテープの再生信号をモノラルで出力することができます。設定は、メニューを使って行います。
モノラル再生機能がオンのとき、ディスプレーに MONO が点灯します。

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンのMENUボタンを押してメニューモードに入ります。
2. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使ってメイン表示部に MONO OUT? を表示し、本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。



3. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使って、 ON または OFF を選択します。
   ON を選択するとCD OUTPUT端子、TAPE COMMON OUTPUT端子およびPHONES端子からモノラル信号が出力されます。
   選択値：OFF（初期値）、ON
4. 本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

メモ

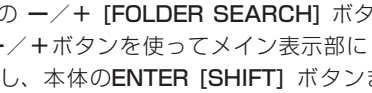
- この設定は、電源を切っても保持されます。
- CDデジタル出力は、モノラルにはなりません。

本機の情報を見る

バージョンを確認する

本機のファームウェアのバージョンおよびビルド番号を確認することができます。

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンのMENUボタンを押してメニューモードに入ります。
2. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使ってメイン表示部に VERSION? を表示し、本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。

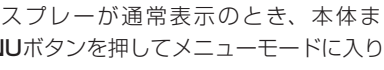


3. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使ってメインバージョン表示（VER〉）、ビルド番号表示（BUILD〉）、CDドライブバージョン表示（CDD〉）を切り換えます。
4. 確認を終えたら、本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

モーターの稼働時間を確認する

本機のCDプレーヤーおよびカセットレコーダーの稼働時間を確認することができます。

1. ディスプレーが通常表示のとき、本体またはリモコンのMENUボタンを押してメニューモードに入ります。
2. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使ってメイン表示部に MOTOR TIME? を表示し、本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。



3. 本体の ー／＋ [FOLDER SEARCH] ボタンまたはリモコンの ー／＋ボタンを使って、CDプレーヤーのモーター稼働時間表示（CD〉）とカセットレコーダーのモーター稼働時間表示（TAPE〉）を切り換えます。
4. 確認を終えたら、本体のENTER [SHIFT] ボタンまたはリモコンのENTERボタンを押して、ディスプレーを通常表示に戻します。

第9章　メッセージ一覧

動作メッセージ

本機の動作に応じて、ディスプレーのメイン表示部に以下のメッセージが表示されます。

メッセージ	メッセージ点灯／点滅	内容	対応方法
Close	点灯	ディスクトレーを閉じています。	
No Disc	点灯	ディスクがありません／ディスクを検出できませんでした。	
No Files	点灯	ディスクに再生可能なファイルが1つもありません。	MP3、WAVファイルの記録されたディスクをセットしてください。
No Filename	点灯	ファイル名を表示できません。	表示できる文字情報は、7bit ASCII相当の文字のみです。
No Name	点灯	表示できるアーティストデータがないか、データを表示できません。	表示できる文字情報は、7bit ASCII相当の文字のみです。
No Title	点灯	表示できるタイトルデータがないか、データを表示できません。	表示できる文字情報は、7bit ASCII相当の文字のみです。
Open	点灯	ディスクトレーが開いています。	
OVERWRITE ?	点灯	プログラムを上書きする操作に対する確認。	
PGM CLEAR !	点灯	プログラムを全て消去しました。	
TOC Reading	点灯	TOC情報を読み込んでいます。	

警告メッセージ

操作を受け付けない場合、以下のような警告メッセージを表示します。警告メッセージは約2秒間表示された後、自動的に消えます。

メッセージ	メッセージ点灯／点滅	内容	対応方法
No Call Pt !	点灯	コールポイントが設定されていません。	CALLポイントを登録してください。（READY→PLAY）
No Program !	点灯	プログラムが設定されていません。	プログラムを設定してください。
PGM Full !	点灯	プログラムには、100曲以上登録できません。	プログラムステップの追加登録をあきらめるか、またはプログラムを消去してから登録し直してください。

エラーメッセージ

以下のエラーメッセージが表示されたときは、対応方法を参考に原因を解消してください。それでも改善しない場合は、ティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。

CDドライブ

メッセージ	メッセージ点灯／点滅	内容	対応方法
Comm Error	点滅	CDドライブとの通信ができません。	ティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。
Comm Error	点灯	CDドライブとの通信でエラーが発生しています。	ティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。
Decod Error	点灯	サポート外のファイルであるか、ファイルを再生できません。	ディスクを交換してください。
Disc Error	点灯	TOCやファイルシステムが読み出せないか、フォーカス調整ができません。	ディスククリーニングするか、交換してください。
Drive Error	点灯	CDドライブのハードウェアが故障しています	ティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。
Read error	点灯	曲にアクセスできません。	ディスククリーニングするか、交換してください。

カセットデッキ

メッセージ	メッセージ点灯／点滅	内容	対応方法
Err	点灯	カセットメカが故障しています。	ティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。

第10章　トラブルシューティング

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。
それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

電源が入らない

- 電源プラグがしっかりと差し込まれていますか?

リモコンから操作できない

- リモコンの電池が入っていないか、消耗していませんか?

音が出ない

- モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。
- アンプの音量や設定を確認してください。
- CD OUTPUT端子からはテープ再生音は出力されません。また、COMMON OUTPUT端子からはメニューの COMMON OUT 項目の設定に基づいて信号が出力されます。

雑音がする

- 接続ケーブルが接触不良になっていませんか?

モノラルで再生される

- メニューの MONO OUT 項目が ON になっていませんか?

カセットテープに録音できない

- カセットテープの誤消去防止用のつめが折れていませんか?
- カセットレコーダーが停止または録音待機状態になっていませんか?
- 接続をもう一度確認してください。
- INPUTつまみは、上がっていますか?
- メニューの TAPE INPUT SOURCE 項目で、入力ソースが正しく選択されていますか?

カセットテープの再生音がおかしい

- ヘッドやピンチローラーが汚れていませんか?
- 汚れている場合は、クリーニング液で清掃してください。
- ヘッドが帯磁している場合は、消磁してください。
- ピッチコントロールが働いていませんか?

CDからカセットにダビングできない

- CDが再生または一時停止になっていませんか?
- カセットテープの誤消去防止用のつめが折れていませんか?

CDを再生できない

- MP3ファイルの場合は、本機が対応しているビットレートであるかどうかを確認してください。
- ディスクに傷や汚れが付いていませんか?

データCDを全部再生できない

- メニューの FOLDER PLAY 項目が ON になっていませんか?

第11章　仕様

定格

CDプレーヤー部

再生ディスク

CD-DA（12cm/8cm）、CD-ROM（12cm/8cm）ISO9660 LEVEL 1/2/ROMEO/JOLIET format（CD-R/CD-RWディスク対応）

MP3再生仕様

音声モード　：STEREO/JOINT STEREO/DUAL CHANNEL/MONO/VBR
MPEG 1 Audio Layer III（MP3）
サンプリング周波数　：32k/44.1k/48kHz
ビットレート　：32k ～ 320kbps

WAV再生仕様

サンプリング周波数　：8k/11.025k/12k/16k/22.05k/24k/32k/44.1k/48kHz
量子化ビット数　：8bit/16bit

CD再生仕様

サンプリング周波数　：44.1kHz
量子化ビット数　：16bit
チャンネル数　：2チャンネル

オーディオ特性

周波数特性　：20 ～ 20kHz ±0.8dB
S/N比　：98dB（20kHz LPF + A-weighted）
歪率（THD+N）　：0.006%（1kHz：20kHz LPF）
ダイナミックレンジ　：96dB（20kHz LPF + A-weighted）
チャンネルセパレーション：90dB（1kHz：1kHz BPF）

カセットテープ部

トラック方式

4トラック2チャンネルステレオ

ヘッド構成

録音／再生ヘッド　x1（回転リバース式）
消去ヘッド　x1

使用テープ

C46 ～ C90タイプカセットテープ（メタルは再生のみ）

テープ速度

4.76cm/sec

ピッチコントロール幅

±10%以上

ワウフラッター

0.25%（JIS WRMS）以下

早巻時間

160秒以内（C-60テープ）

録再周波数特性

ノーマル　：30 ～ 13kHz±4dB
ハイポジション　：30 ～ 15kHz±4dB

録再チャンネルセパレーション

1kHz：35dB以上（1kHz、BPF使用）

録再S/N比

58dB（最大録音レベル入力時、A-Weight）

録再歪率

2.5%以下

アナログオーディオ

CDプレーヤー部

CD LINE OUTPUT [UNBALANCED] 端子

アナログ・アンバランス出力

コネクター　：RCAピンジャック
基準出力レベル　：-10dBV
最大出力レベル　：+6dBV
出力インピーダンス　：200Ω

カセットテープ部

TAPE LINE OUTPUT [UNBALANCED]端子

アナログ・アンバランス出力

コネクター　：RCAピンジャック
基準出力レベル　：-4.5dBu
出力インピーダンス　：200Ω

TAPE LINE INPUT [UNBALANCED] 端子

アナログ・アンバランス入力

コネクター　：RCAピンジャック
基準入力レベル　：-9dBu
最小入力レベル　：-19dBu
入力インピーダンス　：22kΩ

ヘッドホン部

PHONES端子

ヘッドホン出力
コネクター　：ステレオ標準ジャック
定格出力　：20mW + 20mW以上（CD MONITOR時、THD+N 0.1%以下、32Ω負荷）

デジタルオーディオ

CDプレーヤー部

CD DIGITAL OUTPUT [COAXIAL] 端子

コネクター　：RCAピンジャック
対応信号フォーマット　：IEC-60958-3民生用規格準拠（S/PDIF）
出力インピーダンス　：75Ω

一般

電源

100VAC、50 ～ 60Hz

消費電力

13W

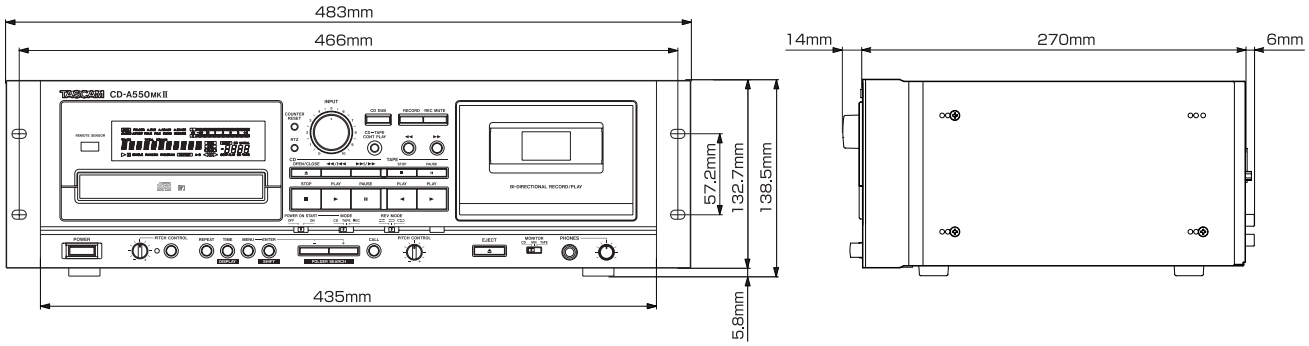
外形寸法

483 x 138.5 x 290mm（幅x高さx奥行き、突起を含む）

質量

6.3kg

寸法図



- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

Memo

無料修理規定（持ち込み修理）

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。

2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。

3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。

4. 次の場合には、保証期間内でも有料修理となります。
（1）ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（2）お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
（3）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
（4）接続している他の機器に起因する故障および損傷
（5）業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
（6）メンテナンス
（7）本書の提示がない場合
（8）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社　〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00／13:00～17:00です。

タスカム カスタマーサポート

市内通話料でOK ナビダイヤル

0570-000-809

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9137／FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター

市内通話料でOK ナビダイヤル

0570-000-501

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033／FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in China

保証書

品　名 および 形　名	CD-A550MKII
機　番	
保証期間	本　体　　1年

お買い上げ日		年　月　日
お客様	お名前	
	ご住所	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	
	電話　（　　）

見本